

フォーリン・アフェアーズ：米国はロシア及び中国と妥協点を見出さなければならない

(アップデート 2017年02月23日 16:04)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/vyioVm>

アメリカ当局は、世界の平和と安全保障を強化するために、ロシアおよび中国と共通点を見出す必要がある。フォーリン・アフェアーズ誌の評論家、ジェイコブ・ストークス氏はこのような見方を示している。

ストークス氏は、米国の専門家たちの間では中国を「敵」とするロシアと米国の友情が現実的な固定観念になっていると指摘している。一方でこのような思惑にはいかなる根拠もない。冷戦の終結は露中関係にポジティブな衝動を与え、今も両国の協力は強まる一方だ。なお米国が露中の友好の代わりにロシアに提案できるものは何もない。制裁の解除、クリミアの承認、NATOの拡大停止、MD(ミサイル防衛)システムの解体などは、「欧州における米国の投資の70年を浪費する」。ストークス氏は、このような考えを表している。

またストークス氏は、米国に残された唯一の道は、ロシアと中国と対等な立場で協力することだとの見方を示している。

先の報道では、中国の王外相はミュンヘン安全保障会議で演説し、中国は米国が対決政策を放棄した場合、米国と協力する用意があると述べた。

<http://sptnkne.ws/dBSE>

日本 米軍機の騒音に対し沖縄の住民に約300億円支払いへ

(アップデート 2017年02月23日 17:16)

© AFP 2016/ Toru Yamanaka <https://goo.gl/knK4TZ>

米軍嘉手納基地の騒音訴訟で、那覇地方裁判所沖縄支部は国に対し300億円余りの賠償判決を言い渡した。NHKが報じた。

NHKによると、米軍嘉手納基地周辺の住民およそ2万2,000人が、米軍機の騒音で健康や日常生活に大きな被害を受けているとして、国に夜間・早朝の飛行の差し止めや賠償などを求める裁判を起こした。

2016年12月には沖縄の高等裁判所が、米軍普天間基地の騒音に対して国に賠償を命じる地方裁判所の同様の決定を支持した。

先の報道では、在日米海兵隊を統括する第3海兵遠征軍は8日、岩国基地(山口県岩国市)に配

備された F-35 ステルス機能戦闘機が今週、沖縄周辺で初めての訓練を始めたと発表した。

<http://sptnkne.ws/dBUg>

マレーシア警察 金正男氏殺害事件の捜査でインターポールに協力を要請

(アップデート 2017 年 02 月 23 日 17:48)

◦ AP Photo/ Ahn Young-joon <https://goo.gl/1auB1R>

北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の異母兄、金正男氏が殺害された事件で、マレーシア警察は、事件に関与しているとみられる北朝鮮国籍の 4 人の捜査協力を国際刑事警察機構 (ICPO) に要請した。ロイター通信が、マレーシア警察のリド・アブバカル長官の発言を引用して報じた。

アブバカル長官によると、警察は在マレーシア北朝鮮大使館にも大使館の 2 等書記官および北朝鮮の高麗航空の職員の事情聴取を要求しているという。

先の報道では、北朝鮮メディアは 22 日、初めて金正男氏殺害事件について発表した。

<http://sptnkne.ws/dBVh>

露下院 クリルへの師団配備に対する日本の抗議にコメント

(アップデート 2017 年 02 月 23 日 18:55)

◦ Sputnik/ Yuri Kaver <https://goo.gl/z2Ad46>

ロシア議会下院・国家会議国際問題委員会のドミトリー・ノヴィコフ第一副委員長は「クリルの島々は、ロシア連邦の領土であり、それゆえロシア側には、国を守るためそれらを用いる権利がある」と述べた。

先に日本政府は、ロシアが 2017 年、クリルに師団を展開する計画を発表したことに対し、外交チャンネルを通じてロシア側に抗議した。

セルゲイ・ショイグ国防相は、22 日下院で発言した際「我々は、クリルの西及び南西国境に 3 個師団の配備を完了するつもりだ」と述べた。

ノヴィコフ第一副委員長は「我々は、クリル問題は解決済みだとみなしており、それゆえ島々はロシア領だと捉えている。ロシアには、この領土を守り、ロシア全体を守るため島々を利用する目的で、あらゆる措置を講ずる権利がある」と指摘した。

先の報道では、ロシアは諸島をクリル諸島と命名することはこれがロシアの領土の一部である以上、自国の主権であるにとらえている。この一方でロシアは対日関係における前向きな動きを支持していく。ロシア大統領府ペスコフ公式報道官はこう述べた。

<http://sptnkne.ws/dBXZ>

国連は今後、どのようにテロリズムと戦うのか？

(アップデート 2017年02月23日 19:27)

◎ Flickr/ Steve Calcott <https://goo.gl/YEGMc0>

国連のグテーレス事務総長は、テロリズム対策に関する非公式会議で発言し「テロリズムと戦うための新しい機関、局を作るべきだ」と提案した。現在国連には、安保理事会に反テロ委員会が存在する。

グテーレス国連事務総長の言葉によれば、提案された局は、現在活動中の国連安保理事会の委員会を監督したり、あるいはその活動に干渉したりしない。またこの機関は、国連事務総長を通じて、国連総会に報告を行う。

グテーレス事務総長は、次のように強調している—

「新しい機関は、いかなる加盟国の主権も侵害しない。その活動は、加盟国の支援に向けられ、加盟国の要請によってなされる。その主な特質は、国連の反テロ戦略を遂行することにある。」

先の報道では、国連のグテーレス事務総長は22日、ニューヨークの国連本部で記者会見を開き、南スーダン、ナイジェリア、ソマリア、イエメンの中東・アフリカ地域4ヵ国で2千万人以上が食料不足に陥っており、年内に約56億ドル（約6,300億円）以上の資金援助が必要だと訴えた。

<http://sptnkne.ws/dBYc>

北朝鮮が米国に物理的影響を与える恐れがある—マスコミ

(アップデート 2017年02月23日 20:46)

◎ REUTERS/KCNA <https://goo.gl/R8Z2Sh>

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は、「米国に対して物理的な措置を取る」と脅した。

北朝鮮の朝鮮労働党機関紙「労働新聞」は、3年間にわたる朝鮮半島での武力紛争（1950年から1953年）の後、平和条約に調印がなされていないため、北朝鮮は「技術的に米国との戦争状態にあ

る」と指摘している。

「労働新聞」は、「人民共和国の防衛力強化のために平壤がとっている法的措置を非難する権利を誰も持っていない」と強調し、「我々の国のミサイル発射はいつでも行われる可能性がある。もしワシントンがこれまで通り平壤に圧力を加えるならば、朝鮮民主主義人民共和国は米国とその協力者に対して物理的措置を講じる」と主張している。

先の報道では、韓国の情報機関、国家情報院は14日、北朝鮮が12日に発射した新型弾道ミサイル「北極星2」の射程は2千キロ以上との分析を韓国国会に伝えた。

<http://sptnkne.ws/dCa4>

マレーシア 北朝鮮大使館を閉鎖する可能性あり

(アップデート 2017年02月23日 22:00)

◦ AFP 2016/ Ed Jones Ed Jones <https://goo.gl/I51HVI>

マレーシアは、北朝鮮の指導者金正恩氏の異母兄、金正男氏が首都クアラルンプールの空港で殺害されたことを背景に、朝鮮民主主義人民共和国の外交代表部の閉鎖もあり得るとした。ロイター通信が、マレーシア政府高官の発言を引用して伝えた。

報道によれば、北朝鮮大使のコメントは、マレーシアの否定的反応を呼び起こした。同国は、対抗措置として、北朝鮮大使館閉鎖の可能性を検討しているという。

なお伝えられるところでは、マレーシア外務省は、今のところ、この情報に関し、いかなるコメントもしていない。

<http://sptnkne.ws/dCbA>

「ダーイシュ」撤退：シリア反政府勢力がアルバブの解放を発表

(アップデート 2017年02月24日 00:18)

◦ AFP 2016/ Rafat Ahmad <https://goo.gl/1Z4HGI>

シリア北部アルバブがテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」から完全に解放された。反政府武装勢力「シリア自由軍」の報道官ウサマ・アブ・ザイド氏が述べた。同氏は「アルバブは、シリア自由軍と『ダーイシュ』との激戦の末、完全に解放された」と語った。テレビ局 Sky News Arabia が伝えた。アルバブはシリアにおける「ダーイシュ」の拠点の一つ。

先の報道では、ロシア軍は昨日の 21 日中にシリア国内で 7 件の人道活動を行った。

<http://sptnkne.ws/dCcp>

中国 新たな レーザー防空システムを公開【写真】

(アップデート 2017 年 02 月 23 日 22:50)

◦ 写真: Youtube/ Rheinmetall Defence <https://goo.gl/Kd3yTS>

中国は、低高度レーザー防空システム「サイレント・ハンター」をデモンストレーションした。「サイレント・ハンター」は、アブダビで開かれた国際軍事見本市「I D E X」で展示された。「人民日報」が報じた。

「サイレント・ハンター」は、2016 年の G20 杭州サミット中に稼働を開始した。兵器のカタログによると、標準出力は 30 キロワット、最大射程は 4 キロ。「サイレント・ハンター」は、中高度無人航空機の迎撃に使用される。800 メートル以内では厚さ 2 ミリの鋼板 5 層、1,000 メートル以内では 5 ミリの鉄板に貫通することができる。なお現在、迫撃砲やロケット弾を迎撃するための砲の新バージョンが開発されているという。

twitter.com/ <https://goo.gl/Ryyzuz>

<http://sptnkne.ws/dCcY>

中国 北朝鮮との国境に兵士を増員したとの情報を否定

(アップデート 2017 年 02 月 24 日 00:11)

◦ AP Photo/ Ng Han Guan <https://goo.gl/3p100N>

中国国防省の報道官は木曜、ブリーフィングで、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の異母兄、金正男氏がマレーシアで死亡した後、中国が北朝鮮との国境に兵士を増員したとの情報について、根拠のないものと指摘した。

先に香港のメディアは、マレーシアで金正男氏が死亡した後、中国は「不測の事態に備えて」北朝鮮との国境に 1,000 人の兵士を増員したと報じた。報道官は、「中国と北朝鮮との国境に兵士が増員されたという皆さんによって報じられた情報だが、これは根拠のない、完全なでっち上げだ」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dCeZ>

ロシア 新たな移民から欧州を救う

(アップデート 2017年02月24日 00:49)

© AP Photo/ Zoltan Gergely Kelemen <https://goo.gl/USLn1q>

ロシアの直接的な参加の下で達成されたシリアの停戦により、大勢のシリア人が家へ帰る希望を持ち始めた。23日、ロシアのボロダフキン駐ジュネーブ国連大使が「ロシアは何度も欧州を新たな移民の波から救っている」と述べた。また大使は、ロシアがシリアに対して行っている支援について、「すでにロシアから大量の人道支援および軍事技術支援が提供されている…だがシリアの復興については今現在すでに話をする必要があり、膨大な資金が必要とされる」と語った。

<http://sptnkne.ws/dCgm>

プーチン大統領 ロシアがシリアで追及する目標について語る

(アップデート 2017年02月24日 08:19)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/RGZ1bY>

プーチン大統領は23日、軍人との会合で、ロシアはシリアの内政干渉を課題にはしないと述べ、テロリズムに決定的な打撃を与える必要性を強調した。

プーチン大統領は「状況は複雑だが、シリアが政治的解決に向けて移行するのが早ければ早いほど、国際社会および我々にはシリア領内のテロの伝染病に終止符を打つチャンスが増えるだろう。だが我々は、シリア自身の内政に干渉することはなく、その必要もなく、それを課題にすることもない。我々の課題は、合法政権の安定化と国際テロリズムに決定的な打撃を与えることだけだ」と語った。

先の報道では、シリア北部アルバブがテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」から完全に解放された。反政府武装勢力「シリア自由軍」の報道官ウサマ・アブ・ザイド氏が述べた。

<http://sptnkne.ws/dCtq>

マレーシアは、批判北朝鮮にマレーシア法律を守ってほしい、と強調

(アップデート 2017年02月24日 09:17)

© Flickr/ Eric Teoh <https://goo.gl/zjcS8f>

北朝鮮の金正男氏殺害事件を巡り、マレーシアのナズリ観光・文化相は23日、北朝鮮側が正男氏の早期の遺体引き渡しを要求、マレーシア側の捜査を批判していることに強い不満を表明。「ここ

はマレーシアだ。私たちの法律がある」と強調した。

ナズリ氏は、北朝鮮を「ならず者国家」と痛烈に批判し、「マレーシア人に北朝鮮訪問は勧めない。彼らは何をするか分からない」と語った。マレーシア紙スター（電子版）が伝えた。

両国はビザなしで国民が相互に行き来できる友好国だったが、事件後に関係は急激に悪化。マレーシアは20日、駐北朝鮮大使の召還を発表した。共同通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dCtP>

米国人はロシア人と仲良くしたいのか？

(アップデート 2017年02月24日 10:24)

© AFP 2016/ Bryan R. Smith <https://goo.gl/DVj51M>

トランプ米大統領が所属する共和党の支持者らは、トランプ氏の対露政策を強く支持している。水曜、新聞コングロマリット「マクラッチー」が、社会学研究所マリスタによって実施された新たな世論調査の結果を報じた。

世論調査では、米国の共和党支持者73%がロシアとの関係正常化を支持しており、反対しているのはわずか10%であることが分かった。無党派有権者の間では意見が分かれ、ロシアとの関係正常化に賛成、または反対と答えた人は、共に43%だった。

なお民主党支持者は断固として反ロシアの感情を抱いているため、約40%がロシアとの関係正常化を支持したのに対し、約50%がロシアと仲良くするというトランプ大統領の政策に反対していることが分かった。

先の報道では、米国のクリス・マーフィー上院議員は、議会での「ロシアの米大統領選挙介入」に関する主張の調査結果に基づき、新たな対ロシア制裁を発動する可能性があるとして述べた。

<http://sptnkne.ws/dCtT>

米大統領：他国に優位に立つ核兵器増強を明言

(アップデート 2017年02月24日 12:48)

© Flickr/ International Campaign to Abolish Nuclear Weapons <https://goo.gl/Y0iZNf>

トランプ米大統領は23日、ホワイトハウスでロイターとのインタビューに応じ、米国が核兵器能力で他国に劣ることはないとして核備蓄を増強する考えを表明した。トランプ氏が核兵器について

発言するのは就任以来初めて。

同氏は「私は核のない世界を誰よりも見たいと思っている人間だ。しかし、それが友好国であっても、他国に劣るつもりは決してない。核兵器で後れを取ることは決してない」と明言した。ロイター通信が報じた。

現地時間 23 日の記者会見でスパイサー米大統領報道官も「合衆国は核兵器分野において我々の優位の地位を決して譲るなどことがない」と、核兵器増強について触れた。

オバマ政権下のロシアと締結した新戦略兵器削減条約（新 S T A R T）は、米ロが 2018 年 2 月までに配備済みの戦略核弾頭を 1,550 発に削減することを定めている。

トランプ氏はインタビューで、新 S T A R T が「一方的な協定だ」と批判。「米国が行ったまづい協定の一つだ。S T A R T であっても、イランとの合意であっても、われわれは良い協定を作り始める」と強調した。

また、ロシアが地上発射型の巡航ミサイルを配備したことについて、1987 年の中距離核戦力全廃条約に違反するとして批判。ロシアのプーチン大統領に問題を提起するかとの質問には、「われわれが会談すれば」そうすると述べた。

一方、北朝鮮の弾道ミサイル実験については「非常に怒りを覚えている」と非難。日本や韓国のミサイル防衛システムを加速させるなど、さまざまな選択肢があるとした。

<http://sptnkne.ws/dCtV>

ブレグジット決定後：英国の移民純増数、27 万人に減速

（アップデート 2017 年 02 月 24 日 13:18）

◦ 写真: P I x a b a y <https://goo.gl/UIH3LT>

政府統計局（O N S）は 23 日、英国への移民の純増数が 2016 年 9 月までの 1 年間で 27 万 3,000 人となり、前年から 4 万 9,000 人減ったと発表した。過去 2 年間で初めて 30 万人を下回った。今回は欧州連合（E U）離脱を決めた国民投票後 3 カ月の結果が反映されており、特に中東欧や E U 域外出身者の落ち込みが目立った。

純増数の内訳を見ると、E U 加盟国出身者は 16 万 5,000 人と 1 年前から 6,000 人減少。特に中東欧 8 カ国からの出身者が 2 万 2,000 人減った。また、非 E U 加盟国出身者は 2 万 8,000 人縮小し、16 万 4,000 人とどまった。

英国への流入人口は全体で 59 万 6,000 人と、前年から 2 万 3,000 人減少。うち E U 加盟国出身者

は1万2,000人減って26万8,000人だった。一方、非EU加盟国出身者は25万7,000人で、1万8,000人減少した。

目的別に見ると、就労が全体で29万4,000人と1年前から5,000人増加。うち明確な就職先が決まった上で来英した人は19万人と過去最高に達し、就職活動を目的に来た人は10万4,000人だった。留学生は13万4,000人で、4万1,000人減っている。

■難民申請、減少に転じる

難民申請件数は2016年通年で3万8,517件と、前年から4%減った。2010年以降で初の減少に転じ、ピークだった2002年の10万3,081件の3分の1強にとどまった。国別ではイラン(4,792件)が最も多く、これにパキスタン(3,717件)、イラク(3,651件)アフガニスタン(3,094件)、バングラデシュ(2,234件)が続く。シリア難民の申請件数は1,588件で、43%縮小した。

英国からの流出人口は2016年9月までの1年間で32万3,000人と、前年から2万6,000人増加した。

ONSは今回、ルーマニアとブルガリア出身の移民純増数が引き続き増えたことから、離脱決定が移民数に与えた影響を図るのは時期尚早としている。

英政府はかねて、移民純増数を年間10万人以下に削減する目標を掲げている。メイ首相は先に発表した「EU離脱白書」の中で、EU単一市場から撤退し、移民制限や主権回復を優先する「ハード・ブレグジット」を選択すると表明。EUとは自由貿易協定(FTA)を含む戦略的パートナーシップを新たに結ぶ方針だが、EU側は一貫して、ヒトの自由な行き来を認めない限り、単一市場への自由なアクセスを容認しない構えを見せている。共同通信系列のヨーロッパ経済ニュースが報じた。

<http://sptnkne.ws/dCtX>

米国 シリアにおける「ダーイシュ(I S)」との戦いの戦略変更へ

(アップデート 2017年02月24日 14:38)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/JzQHYC>

米国は、シリアにおけるテロ組織「ダーイシュ(I S、イスラム国)」との戦いに関する自国の戦略を変更する可能性がある。ワシントンポスト紙が、米国政府関係者の話を引用して伝えた。消息筋によると、米国はシリア内戦に気をとられることなく「ダーイシュ」やその他のテロ組織との戦いに集中する方針。

ワシントンポスト紙は、トルコと米国が「ダーイシュ」に支配されているラッカ奪還にクルド人

を参加させる可能性について議論していると指摘している。なおトルコはクルド人の参加を排除し、トルコ軍、大勢の米軍とシリア系アラブ人の使用を提案したという。

ワシントンポスト紙は、これは潜在的に、「以前その航空部隊がトルコ軍を助けたロシアとの協力のための扉を開く」と報じている。

先の報道では、国連のグテーレス事務総長は、テロリズム対策に関する非公式会議で発言し「テロリズムと戦うための新しい機関、局を作るべきだ」と提案した。

<http://sptnkne.ws/dCKH>

米軍部 シリア作戦でロシアと連携行動の向上を希望

(アップデート 2017年02月24日 16:39)

◎ 写真: Public domain <https://goo.gl/6Zw21G>

シリアでの不慮の事故を防止するため露米の軍部はより高いレベルでの討論を行わねばならない。米空軍のジェフ・ハーリガン中将はこうした見解を表した。

「我々の見解では、より高いレベルでの討論を可能とするもうひとつのレベルが必要であり、我々はそのレベルがどういったものかを見極めねばならないと思う。」

24日、ハーリガン中将の見解をワシントンポスト紙が引用して報じた。ハーリガン中将はシリア作戦の実現では米軍機がロシア軍パイロットの通り道に「いるという事態が定期的に起きている」ことを認めた。

「ロシア軍部とは作戦に対する狙いが互いに食い違う点があった。最終的にこれについては話をまとめたが、時間はかかった。理由は討論をより高いレベルへ上げることができなかったからだ。」

このほかワシントンポスト紙の報道では、米軍部はロシアとの通信ラインの完璧化を望んでおり、ハーリガン中将は信頼性の高い通信チャンネルを達成すればパイロットの安全は高められると語っている。

なお先に伝えられたところによると、米国は、シリアにおけるテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」との戦いに関する自国の戦略を変更する可能性がある。

<http://sptnkne.ws/dCw5>

イスラエル ヒューマンライツウォッチへの労働許可書発行を拒否

(アップデート 2017年02月24日 17:24)

© Sputnik/ Vitaliy Belousov <https://goo.gl/xAf5kr>

イスラエル内務省は人権擁護組織「ヒューマンライツウォッチ」がパレスチナのプロパガンダを支持したとして組織へのビザ発給を拒否した。同内務省のコミュニケが発表した内容をヒューマンライツウォッチのサイトが明らかにした。

ヒューマンライツウォッチのコミュニケによれば、イスラエル内務省は2月20日に発行した書簡でイスラエルおよびパレスチナのヒューマンライツウォッチ代表事務所のオマル・シャキル代表への労働許可書発行を拒否。その理由をイスラエル内務省は「組織の社会活動とレポートはパレスチナのプロパガンダに都合のよい政治と結びついて」いることから、これは「真の人権擁護グループではない」と説明している。

ヒューマンライツウォッチのライアン・レヴィン副執行役はイスラエル政権の決定について失望させられたとコメントし、「こうした決定と疑惑に満ちた説明はイスラエルが民主主義の価値に忠誠であるかを憂慮する各人に警戒心を呼び起こすもの」と語っている。

なお先にイスラエルがユネスコとの協力を一時停止したと報じられた。

<http://sptnkne.ws/dCxC>

故チュルキン国連大使 告別式がモスクワで開始

(アップデート 2017年02月24日 17:51)

© Sputnik/ Eduard Pesov <https://goo.gl/PqLKSb>

先日急死したロシアのヴィタリー・チュルキン国連大使の告別式がモスクワの大統領管轄中央臨床病院の大葬儀ホールで開始された。チュルキン氏の遺体は23日モスクワへ到着。遺体は22日、氏の同僚のロシア人外交官らに見送られてニューヨークを出発していた。

故チュルキン国連大使の告別式に出席したラヴロフ外相 (左)

© Sputnik/ Grigoriy Sisoiev <https://goo.gl/CKuxTb>

チュルキン氏は2月20日に急逝。翌日には65歳の誕生日を迎えるはずだった。チュルキン氏は2006年4月8日からニューヨーク国連本部でロシア国連大使の任務についていた。

<http://sptnkne.ws/dC3B>

トランプ大統領 米国の核備蓄増強へ ロシアとの条約は気に入らず

(アップデート 2017年02月24日 18:23)

© REUTERS/ Joshua Roberts <https://goo.gl/S8MS5d>

トランプ米大統領は、米国の核備蓄を増強すると約束した。ロイター通信が報じた。ロイター通信によると、トランプ大統領は核弾頭と運搬手段の相互的削減に関するロシアとの新戦略兵器削減条約（新START）については「一方的な協定だ」と批判した。

またトランプ氏は、米国が「核兵器で後れを取ることは決してない」と明言し、米国は核備蓄を増強しなければならないとの考えを表した。ロイター通信が報じた。ホワイトハウスのスパイサー報道官は23日、マスコミ向けのブリーフィングで、「米国は核分野における自国の優位性を誰かに譲るつもりはない」と述べた。

露米が2010年に締結した条約期間10年の新STARTは、配備中の戦略運搬手段（大陸間弾道ミサイル、潜水艦発射弾道ミサイル、戦略爆撃機）を700基、戦略核弾頭を1,550発までに削減することを定めている。

<http://sptnkne.ws/dCzc>

日本の国連大使からもお悔やみ：熟練外交官だったチュルキン氏

(アップデート 2017年02月24日 18:46 徳山あすか)

© Sputnik/ Vitaliy Belousov <https://goo.gl/ilr4Z0>

20日、64歳の若さで、ニューヨークで急逝したロシア国連大使のヴィタリー・チュルキン氏。21日には65歳の誕生日を迎えるはずだった。ロシアで人気のある外交官だった彼の突然の死に、ロシアはこのニュース一色となり、悲しみに包まれた。チュルキン氏の遺体は昨日モスクワに到着し、今日24日、モスクワで葬儀が行われている。これより前にニューヨークで行われたお別れの会には、300人以上が集まった。

トランプ米大統領も弔意を示し、チュルキン氏を「熟練の外交官」「多くの重要な課題について米国と取り組む上で決定的な役割を果たした」と声明を出した。米国のスーザン・ライス元国連大使は「チュルキン氏は危険な敵だった。だが常に友でありつづけた」と話した。シリア問題などでロシアはたびたび欧米諸国と対立したが、チュルキン氏は一歩も引かず、ロシアの国益を守る主張を展開し、ひととき存在感を放っていた。

国連日本政府常駐代表・別所浩郎氏も、弔意のメッセージを寄せてくださった。以下、全文をご紹介します。

「2月20日、ロシアのチュルキン国連常駐代表が逝去された。この週末、昼食の場でチュルキン大使ご夫妻に偶然お目にかかっていた。いつもと変わらぬ元気いっぱいのお姿だった。それだけに、突然の訃報に接し、ただただ驚くとともに、今でも信じられない気持ちで一杯である。ロシアの国益を背負った姿には、同じ外交官として、同い年の同僚として敬意を有している。総会や安保理の場で、また事務総長からもそれぞれ弔意が表明されたのは、彼の存在の大きさを示している。家族、同僚に衷心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りしたい。」

さて、ここから少々内輪の話になるが、当サイト「スプートニク日本」の前編集長であるアンドレイ・イワノフ氏も、昨年6月に58歳の若さで急逝した。イワノフ氏は、スプートニク日本の編集長を務める傍ら、モスクワ国際関係大学で研究員として働いていた。ここはチュルキン氏の母校で、外交官養成所とも言われている。国際政治、日本研究の専門家だったイワノフ氏の早すぎる死に対し、ロシアの日本研究者の間で衝撃と悲しみが広がり、たくさんのお悔やみが寄せられた。筆者はイワノフ氏と金曜日に仕事の打ち合わせをしていたのだが、もうその週末には亡くなってしまった。趣味の庭仕事をしていて突然倒れ、そのまま帰らぬ人となったのだ。「直前まで元気いっぱいだったのに、一瞬でこの世を去ってしまった」という点も、チュルキン氏と同じなので、筆者は既視感を感じた。チュルキン氏の場合はロシア政府国連代表部の執務室で倒れ、病院に搬送されたものの、その後まもなく死亡が確認されたということだ。心臓に問題があったという話も報道では出ているが、まだ死因ははっきりしていない。

もちろん人によって健康状態や心理状態、生活環境が違うので一概に言えないが、ロシア人男性が突然死するのは珍しいことではなく、若くして亡くなる人も多い。ロシア人男性の平均寿命は昨年データで65.6歳だ。（これでも改善に向かっている。）そのような場合、亡くなる前触れが全くなかっただけに、残された者の悲しみは計り知れず、現実を受け入れるのに長い時間が必要になる。

<http://sptnkne.ws/dC23>

マレー警察 金正男氏事件捜査で化学物質を民家から押収

（アップデート 2017年02月24日 19:44）

◎ AFP 2016/STR <https://goo.gl/gCCMPN>

金正男氏暗殺事件を捜査しているマレーシア警察は、クアラルンプール市内のある住居で数種類の化学物質を押収した。マレーシアの「ザ・ストレイツタイムズ」紙が消息筋からの情報として報じた。

それによれば化学物質が見つかったのはマレーシア人男性（30）の住居。この男性の暗殺事件での役割については明らかにされていないものの、ザ・ストレイツタイムズ紙は、男性はすでに逮捕されている複数の容疑者と関わりをもっていた可能性がある。

24 日同日、これより前、マレーシア警察は金正男氏殺害には化学兵器の 1 種である猛毒の神経剤 VX ガスが使用されていたことを明らかにしている。

<http://sptnkne.ws/dC32>

京都で初めてのマスレニツァ

(アップデート 2017 年 02 月 24 日 21:12 リュドミラ・サーキャン)

© Fotolia/ Minadezhda <https://goo.gl/K2Y91r>

冬に終わりを告げる、最も派手なロシアの国民的祝祭「マスレニツァ」が 2 月 25 日、京都で初めて、京都市左京区の国際交流会館で開催される。

マスレニツァとは、スラブ民族の伝統的な祝祭であり、数多くの慣習が数世紀の時をこえて今日まで伝わったものである。

これは楽しく冬を見送る祝祭であり、もうすぐ暖くなる、自然が春を迎えて生き返るという期待に満ちたものである。この祝祭につきものなのが、当然ブリヌィである。丸くて、きつね色に焦げ目のついた、熱いブリヌィは太陽を象徴しており、太陽の熱で春には自然が生き返るのである。どの祝祭でも同じだが、マスレニツァもまた、お祭り騒ぎなしには考えられない。その昔、ルーシ時代には、トロイカに乗り、冬を象徴する藁人形を燃やし、歌い踊り騒いだものだ。

京都のマスレニツァ祭を主催するのは、昨年秋に設立されたロシアカルチャーセンターである。センター代表のヴィクトリヤ・トルストワ氏がスポーツニクのインタビューで、マスレニツァ祭の準備について語ってくれた：

「京都でマスレニツァが行われるのは初めてのことで、私たちはとてもドキドキしています。マスレニツァは日本人にはあまり馴染みのない行事なので、彼らは私たちのやること全てを大きな関心をもって見ています。イベントは国際交流会館とその前の広場を会場にして行われます。コンサートのひとつは、レニングラード州と京都府の姉妹提携 22 周年を記念したものとなります。これはロ日合同コンサートで、日本人がロシアのバレエを踊ってロシアの歌を歌い、ロシア人アーティストは逆に日本の歌と踊りを披露します。ロシア人デザイナーのファッションショーも行われる予定です。もうひとつのコンサートは野外コンサートで、ロシアの伝統や遊び、体験講座やゲームを盛り込んだ、純粋にマスレニツァに特化したものとなります。もちろん、ブリヌィも振る舞います。ブリヌィを焼くのは、このために特別にロシアから呼び寄せた私の両親と京都のロシア人コミュニティーのメンバーで、ロシア文化センター神戸のメンバーも手伝ってくれます。また、関西にある複数のレストランも手伝ってくれることになりました。私たちはロシアの食や歌や踊りの文化を、日本文化と対比させるのではなく、融合させることで、日本の皆さんに紹介したいと思っています。例えば、私たちのイベントには「マトリョーミン」アンサンブルの演奏家たちが参加してくれますが、これは一度見たら忘れられない

くらいすばらしい演奏です。全般として、私たちは皆にとって美味しく、楽しく、興味深く、勉強になるような大規模な祝祭イベントを準備しています・・・」

京都で初めてのマスレニツァ

◎ 写真: ヴィクトリヤ・トルストワ氏 <https://goo.gl/DE1xvd>

日本のロシア人ディアスポラは絶え間なく拡大しており、北海道から沖縄に至るまで、日本の47都道府県のすべてにロシア人が居住している。日本のロシア人ディアスポラは「女性の顔」をしているというのが特徴的だ：女性の数が男性の数を倍以上も上回っているのである。しかし、居住地や年齢や地位に関係なく、彼ら全員に共通する重要なことは、皆がロ日関係の発展に自分なりの貢献をしたいと心から願っていることである。文化フェスティバルはそのための最短かつ最も手軽な道なのである。

<http://sptnkne.ws/dC5U>

シリア アレッポのアルバブ郊外で爆発 死者数 60 人に

(アップデート 2017年02月24日 22:41)

◎ AFP 2016/ Rafat Ahmad <https://goo.gl/XTAsXy>

24日、シリア、アレッポ県アルバブ郊外で乗用車に仕掛けられた爆発物が作動。アルジャジーラが医療機関の消息筋情報として報じたところによれば、これによる死者数は60人に達しており、数十人の負傷者も出ている。

事件は自爆テロで現場は武装反体制派のシリア自由軍の戦士らが管轄する検問所。アルジャジーラの報道では犠牲者の中には多くの民間人が含まれている。

<http://sptnkne.ws/dCKT>

イヴァンカさんの父親への影響力：米国は気候に関するパリ協定から脱退しない

(アップデート 2017年02月25日 00:44)

◎ REUTERS/ Carlos Barria <https://goo.gl/xd019C>

クシュナー米大統領顧問とその妻イヴァンカ・トランプさんは、気候に関するパリ協定から脱退しないようトランプ米大統領を説得した。ウォール・ストリート・ジャーナルが、消息筋の情報を引用して報じた。

ウォール・ストリート・ジャーナルによると、パリ協定からの脱退に関する決定はトランプ氏が

近いうちに署名しなければならない大統領令の一つだったが、トランプ大統領の娘のイヴァンカさんとその夫のクシュナー氏は事前に大統領令に目を通し、パリ協定脱退に関する項目を取り除くようトランプ大統領を説得したという。

それより前にトランプ米大統領の娘イヴァンカさんとその夫のクシュナー氏は、LGBTコミュニティの権利に関する米大統領令草案をブロックした。

<http://sptnkne.ws/dCAD>

稲田大臣 クリルへの露師団配置、来月露国防相に直接問いたす方針

(アップデート 2017年02月25日 00:44)

◎ AFP 2016/ Toru Yamanaka <https://goo.gl/HKNkEm>

ロシアのショイグ国防相のクリル諸島への新たな師団配置の表明を受け、稲田防衛大臣は23日、3月に東京で開かれる外務・防衛閣僚協議（2プラス2）でこれを協議する方針を明らかにした。リアノーヴォスチ通信が共同通信の報道を引用して報じた。

菅官房長官は23日の記者会見でロシアの師団配置について外交ルートを通じてすでに抗議を伝えたことを明らかにし、「北方四島におけるロシア軍の軍備強化であるなら、わが国の立場と相いれず遺憾だ」と語っている。

ショイグ国防相は22日下院で発言した際「我々は、クリルの西及び南西国境に3個師団の配備を完了するつもりだ」と明言していた。

露日の2プラス2協議は3月20日、東京で開かれることが決まっており、この場で稲田防衛相はショイグ国防相に直接説明を求める。

<http://sptnkne.ws/dCKW>

メディアがトランプ氏を引きずり落とす計画を入手

(アップデート 2017年02月25日 02:42)

◎ REUTERS/ Jonathan Ernst <https://goo.gl/5r9z96>

米民主党の代表デービッド・ブロック氏は、トランプ大統領を政権から引きずり下ろす計画を策定した。テレビ局R Tが報じた。

伝えられたところによると、「米民主党の代表者らが、ドナルド・トランプ氏を政権から引きず

り下ろす計画を策定した。デービッド・ブロック氏によって準備された文書は、ドナルド・トランプ氏を打倒する戦略的行動計画を含んでいる」という。

計画の策定者らは、これらの措置が2020年までにトランプ氏を弾劾に追い込むと考えており、民主党の主な武器は、トランプ氏の全てのミスを批判することだと指摘しているという。

RTは、民主党メンバーが投資家らと会談したあと分かった計画について、「彼らは大統領と他の国の首脳らとの関係を注視し、新政権の各行動を追跡するチームをつくる計画だ」と報じている。

またRTによると、民主党員の重要な課題の一つは、トランプ氏を支持する保守系メディアのいわゆる「デマ」への抵抗であり、民主党員らは「気に入らない」ニュースの拡散を防止するためにフェイスブックと協力する意向だという。

<http://sptnkne.ws/dCMa>

トルコ軍 シリアのアルバブ市掌握を確認

(アップデート 2017年02月25日 08:12)

© AFP 2016/ George Ourfalian <https://goo.gl/zqa29d>

トルコ軍はシリアの反政府勢力が「ダーイシュ (IS、イスラム国)」に占拠されていたアレッポ県アルバブ市を完全に掌握し、町を解放したことを確認した。トルコ軍が表した声明をロイター通信が引用して報じた。トルコ軍部は同軍の作戦が「著しく前進」した結果、「ジハード主義者 (ダーイシュ) を追い詰めた」ことを明らかにした。トルコ軍の発表ではアルバブでは地雷撤去作業が続けられている。2月23日、ダーイシュはアルバブからの撤退開始を宣言していた。

<http://sptnkne.ws/dCMc>

ロシア 対シリア制裁に関する国連決議に拒否権行使

(アップデート 2017年02月25日 15:25)

© AP Photo/ Seth Wenig <https://goo.gl/U8eFek>

ロシアは、シリア当局が化学兵器を使ったとして、同国に対する制裁導入を規定する国連安全保障理事会決議案に拒否権を行使する意向だ。金曜日、米国のヘリ国連大使は「今まさに、決議案を出すべき時だ」と述べた。

一方、ロシアのサフロニコフ国連次席大使は「もし決議案が投票に持ち出されるなら、拒否権を行使するだろう、それはなぜなのか彼らは知っている。我々は、自らのパートナー達に対し立場を

明確に説明した」と伝えた。サフロンコフ次席大使によれば、シリアでの化学兵器使用に関する調査は終わっておらず、誰の罪なのか証明されていない、ゆえに決議案は、推定無罪の原則に反している。

それより前に米国は、シリアにおけるテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」との戦いに関する自国の戦略を変更する可能性がある」と報じられた。

<http://sptnkne.ws/dCPm>

CNNとNewYorkTimesは「もの笑いの種」になった

(アップデート 2017年02月25日 16:34)

◎ AFP 2016/ Don EMMERT <https://goo.gl/09jXtE>

米国のトランプ大統領は、CNNテレビと新聞New York Timesを、偽のニュースを流しているとして非難した。大統領は、自身のTwitter.にそうした考えを書き込んだ。トランプ大統領は、次のように指摘している—

「ウソのニュースを垂れ流すマスコミは、わざと真実を言わない。我々の国にとって大いなる危険である。新聞New York Timesは、誤りを許し、それはお笑い草に変わった。CNNも全く同じだ。悲しむべきことだ！」

前日CNNテレビ、新聞New York Times、新聞Politico、そして新聞Los Angeles Timesのジャーナリスト達は、ホワイトハウスのブリーフィングから締め出された。CNNテレビの特派員によれば、理由も告げられず、ブリーフィング会場へ入ることを拒否されたという。

[twitter.com/ https://twitter.com/realDonaldTrump/status/835325771858251776](https://twitter.com/realDonaldTrump/status/835325771858251776)

先にトランプ大統領は「ソーシャルネットを通じてマスメディアと戦う」と述べている。

<http://sptnkne.ws/dCQg>

ドイツ 米国に対し貿易戦争を警告

(アップデート 2017年02月26日 00:14)

◎ 写真: Ralf Schulze <https://goo.gl/qQRVYe>

欧州は、もし、米政府による保護主義的経済政策実施の枠内で、EUからの製品に関税を導入するとのトランプ大統領の計画が現実のものとなれば、欧州は鏡に映したように同じ対抗策をとらざ

るを得ないだろう。

土曜日に出た、メディアグループ Funke のインタビュー記事の中で、ドイツのメルケル首相の盟友で、同国連邦議会 CDU / CSU (キリスト教民主同盟・社会同盟) 会派院内総務を務めるフォルカー・カウダー議員は、このように述べた。

カウダー院内総務は「もしトランプ大統領が、EUあるいはドイツの製品にペナルティデューティを課すならば、欧州は、米国製品に対し全く同じものを導入しなくてはならない」と述べ「我々は、誰とでも仲直りができるわけではない。ワシントンの友人達に、かつて鶏肉あるいはスパゲティが原因で貿易戦争が起き、それが双方にとって大きな実りのないまま終わったことを思い起こさせる必要がある」と付け加えた。

カウダー院内総務はまた「米国が、輸出国であり続けるかどうかは、自由貿易にかかっている」との確信を示し「我々は落ち着いてそして確信をもって、もしトランプ大統領が約束していることをするならば、欧州はそれに答えざるを得ない」と話をまとめた。

<http://sptnkne.ws/dCT8>

ソ連元大統領の機密文書がロンドンで見つかる

(アップデート 2017年02月25日 23:03)

◎ AP Photo/ Ivan Sekretarev <https://goo.gl/8IISjK>

ロンドンのバッキンガム宮殿の向かい側にある邸宅に無断で住み着いた活動家らが、初代ソ連大統領ミハイル・ゴルバチョフ氏が設立したゴルバチョフ基金の文書を建物内で発見した。ガーディアン紙が報じた。

1,400万ポンドの邸宅はアナキスト・リバータリアン独立国家 (Anal) として知られるグループによって占拠された。Anal はホームレスの問題に関心を引くため、空き家となっていた「高級」住宅に住み着いた。

ガーディアン紙によると、住所バッキンガムゲート 19 のこの建物には以前、国際 PR 協会 (International Public Relations Association) の事務所があり、ゴルバチョフ氏はそのクライアントの 1 人だった。

無断宿泊者らは建物の内部で、ゴルバチョフ基金のアーカイブを発見した。その中には、ゴルバチョフ氏自身によって署名された機密文書もあった。アーカイブ書類には、基金が提案するスポンサーシップに関する依頼が書かれた様々な多国籍企業への書簡も含まれていた。ガーディアン紙が報じた。

その後、ゴルバチョフ基金の代表者、ウラジーミル・ポリャコフ氏は、ロンドンに基金の事務所やアーカイブがあったことは一度もないと発表した。

同氏は、「ゴルバチョフ基金はロンドンに事務所を構えたことは一度もなく、我々はそのような組織と協力したこともなく、私は基金の設立当初から働いているが、少なくとも私は知らない」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dCRf>

IOC : WADAがドーピングに関する報告書についてロシア人選手の罪の証拠が不十分であることを認めた

(アップデート 2017年02月25日 18:28)

© AP Photo/ Bernat Armangué <https://goo.gl/w4PNFY>

世界アンチ・ドーピング機関（WADA）は、リチャード・マクラーレン氏率いるWADA独立委員会の報告書について、ロシア人選手がアンチ・ドーピング規則違反に関与したとする証拠が不十分であることを認めた。

国際オリンピック委員会（IOC）のホームページに掲載されたリストフ ドゥ ケッパー IOC 事務総長の公開書簡の中で述べられている。

また書簡では、WADAは報告書で使用されている文書の翻訳に不満を抱いていると指摘されている。WADAはより詳細な解説を求めたという。

マクラーレン氏は昨年12月、委員会の報告書第2部を公表した。同氏はその中で、2014年ソチ五輪に参加したロシア人選手のドーピング・サンプルの不正操作が行われたと主張した。

<http://sptnkne.ws/dCSs>

NATO解体は世界に恩恵をもたらすか？

(アップデート 2017年02月25日 19:56)

© Sputnik/ Alexey Vitvitsky <https://goo.gl/0czPzE>

国際舞台におけるNATOのアグレッシブな立場は、ヨーロッパ大陸の平和を脅かしている。独誌 Der Freitag のコラムニスト、ジェイコブ・ライマン氏はこのような見方を示している。ライマン氏は、冷戦終結時からNATOは深刻な「アイデンティティの危機」に直面していると考えており、ワルシャワ条約機構崩壊後、NATOは「過去の遺物」となり、時宜を得たNATO解体は平

和に関する西側諸国の最も大きな貢献となるだろうと強調している。

またライマン氏は「歴史の中で一度だけ我々には皆で軍縮を開始し、包括的な非軍事化に着手するチャンスがあった」との考えを示している。だがNATOは『平和的』な道を拒否した。これはNATO加盟国が世界の軍事費の60%を占めていることで証明されているという。

ライマン氏はまたNATOの東方拡大について、これは「民主主義あるいは自由主義の価値の保護とは何の関係もなく」、攻撃的な性格を有していると指摘している。また同氏は、NATOは「東へ行かない」というドイツのハンス＝ディートリヒ・ゲンシャー元外相と米国のジェームズ・ベーカー元国務長官によるソ連指導部への約束について言及している。1990年代末までに、口頭による合意ではなく、国際文書でゆるぎないものとする必要があったことが明かとなった。

<http://sptnkne.ws/dDgu>

米国務省 北朝鮮代表との交渉を失敗させる

(アップデート 2017年02月25日 20:41)

© AFP 2016/ Ed Jones <https://goo.gl/pj4P1I>

北朝鮮高官と米国の元当局者との交渉が流れた事が分かった。米国務省は、北朝鮮の崔善姫 (Choe Son Hui) 北米局長にビザを発給しなかった。ロイター通信が、米国の複数のマスコミ報道を引用して伝えた。

崔北米局長と米国の民間人で元当局者との会合は、ニューヨークで3月1日と2日に行われるはずだった。報道によれば、この協議は、トランプ氏が新大統領に就任して以来、米当局と北朝鮮の初の接触になる可能性があり、注目されていた。

新聞 Wall Street Journal の報道では、国務省が、北朝鮮外務省の女性高官へのビザ発給を認めなかった。ビザ手続き拒否の理由については、明らかにされていない。

<http://sptnkne.ws/dCVc>

モハメド・アリ 死して息子に栄光と名ばかりでなく移民問題も残す

(アップデート 2017年02月25日 21:07)

© AP Photo/ <https://goo.gl/oBjViK>

米当局の新たな厳しい移民管理措置は、またもやスキャンダルをもたらした。フロリダ国際空港で、米国のパスポートで旅行していたプロボクシングの元世界ヘビー級王者故モハメド・アリ氏の

息子が拘束されたのだ。この出来事が起きたのは2月7日で、息子が母親とジャマイカから帰国した時だった。入国管理官は、母親は通したが、モハメド・アリ Jr. は、小部屋で取り調べを受けた。

そのさい特に、どうしてそんな名前なのかと聞かれたほか、イスラム教徒かどうか質問されたという。2時間後に身柄は自由となったが、モハメド・アリ Jr. は、米当局を相手取って訴訟を起こす可能性を検討中だ。氏は「自分の権利は侵害された、不法に拘束された」と述べている。

<http://sptnkne.ws/dDc8>

「ダーイシュ（IS）」との戦闘に米国の第五世代戦闘機 F-35 出撃へ

(アップデート 2017年02月26日 00:11)

◎ AP Photo/ Rick Bowmer 1/3 <https://goo.gl/599nQJ>

米空軍は、テロ組織「ダーイシュ（イスラム国）」との戦いのため、中東に、多用途ステルス戦闘機 F-35 を配備する意向だ。新聞 Defence News が伝えた。

戦闘空軍司令官を務めるハーバート・カーライル空軍大将によれば、欧州及びアジア太平洋地域へのこのタイプの戦闘機の若干の供給は、今春にも行われるだろう、とのことだ。また空軍大将は「シリア及びイラクにおいて F-35 は、米空軍にとってかなり大きな助けになる」との確信を明らかにした。

2016年8月、F-35 の改良型である最新鋭ステルス戦闘機 F-35A は、空軍の専門家らにより、戦闘条件下での使用に適っているとの評価を得た。

<http://sptnkne.ws/dCXz>

オーストリア紙：欧州の幾つかの国々の利己的な野望が EU を葬るかもしれない

(アップデート 2017年02月26日 06:45)

◎ AP Photo/ Virginia Mayo <https://goo.gl/GyGnpT>

オーストリアの新聞 Die Presse は、掲載した論文の中で「EU は、抜本的な機構改革を必要としている。なぜなら欧州の統一は、勢力を増しつつある右派ポピュリストらの運動に、そして若干の EU 加盟諸国の野望に脅かされているからだ」と指摘した。

論文の中では、次のように述べられている—

「EU を魚に例えるなら、よく知られたことわざのように頭から腐りつつあるのではない。欧

州の若干の国々の首都から腐り始めているのだ。EUの統一は、特にハンガリーやポーランドのせいで脅威にさらされている。もしハンガリーのオルバン首相が、自分の国はEUの側からの攻撃にさらされていると主張するとすれば、ポーランドは分かったうえで絶えず、EU指導部の批判を無視している。つまり彼らは、欧州統合という思想の真の意味での墓掘人なのである。欧州では、民族主義的な狭量さが拡大しており、ますます多くの国々が、自分達にとって経済的にも国内政治的観点からも利益のある事のみに関心を持っている。」

なお先にドイツのフランクフルター・アルゲマイネ・ツァイトゥング（FAZ）紙にフランス、オランダが今年迎える選挙の結果如何でEUの運命は大きく左右されるという評論が掲載された。

<http://sptnkne.ws/dDg5>

漏洩対策に関するメモが米 국무省から「漏洩」する

（アップデート 2017年02月26日 08:04）

◎ Sputnik/ <https://goo.gl/A8RvkP>

米 국무省から情報が漏洩する危険性についてティラーソン米 국무長官へ送られたメモが、ジャーナリストらの手に渡った。ワシントンポスト紙が報じた。

SBU（機密ではないが取扱注意の情報）としてマークされている「特権情報」の保護に関するメモを、ワシントンポスト紙のジャーナリストが、米当局のある職員のお陰で入手した。

メモの中で米 국무省法務部はティラーソン氏に、どのような種類の情報をSBU指定にして隠すべきかについて説明しようとし、取扱注意の情報の漏洩対策の必要性を指摘した。なお同プロセスの主な脅威は、高官が部下と相談しなくなるかもしれないということにあるという。

<http://sptnkne.ws/dDg6>

ロシアとイラン 共同で核燃料を製造

（アップデート 2017年02月26日 08:16）

◎ AP Photo/ Vahid Salemi <https://goo.gl/h136pW>

ロシアとイランは、核燃料の共同製造に向けた「ロードマップ」を承認した。イランのサレヒ副大統領兼原子力庁長官が、イラン学生通信（ISNA）のインタビューの中で明らかにした。スパーク通信は、サレヒ長官の言葉を引用し次のように伝えた—

「原子力交渉の枠内で話し合われ、最終的にまとまった項目の中で最も有益だったのは、ロシ

アとイランが共同で核燃料を製造するというものだった。我々は、この分野でロシアの援助が必要とされていることについて話した。」

サレヒ長官によれば、ロシアがこの分野でアドバイスする事でも合意をみたとのことだ。

さきにサレヒ長官は「イラン指導部は、もし米国のトランプ大統領が、国際仲介役との取引を破棄するなら、イランは核兵器領域での活動を再開させる用意がある」と述べている。

先の報道ではトランプ米大統領は、イランに対する態度について、前任者のオバマ氏のような「好意あるもの」にはならないと述べた。

<http://sptnkne.ws/dDg9>

金正男氏暗殺で北朝鮮 再びテロ支援国家のリスト入りか

(アップデート 2017年02月26日 09:54)

◦ REUTERS/ KCNA <https://goo.gl/kYIvbD>

朝鮮民主主義人民共和国の指導者金正恩委員長の異母兄、金正男氏殺害事件は、世界政治の状況を複雑かつ困難なものにし続けている。

米国は、北朝鮮をテロ支援国家のリストに含めるプランを検討中だと発表した。北朝鮮は、これまでも1987年から2008年まで、大韓航空機の乗員乗客115人が犠牲となった事件の罪を問われ、このリスト入りしていた。なおこれは、大韓航空機爆破事件と呼ばれ、1987年11月29日、偽造パスポートを使い日本人に成り済ました北朝鮮の工作員が、大韓航空の旅客機を飛行中に爆破したとされるテロ事件である。

金正男氏は、マレーシアの首都クワラルンプールの空港で、おそらく神経ガスVX13により暗殺されたものと見られている。マレーシア警察はまた、拘束された北朝鮮市民、北朝鮮外交官、国営コリョ（高麗）航空の職員などから供述を得ようとしている。

<http://sptnkne.ws/dDjp>

ロシア 新世代地对空ミサイルシステムS-500のための専門家の養成を開始

(アップデート 2017年02月26日 12:50)

◦ 写真: The Ministry of Defence of the Russian Federation <https://goo.gl/ya0gu3>

ロシアで次世代地对空ミサイルシステムS-500の作業のための専門家の養成が初めて始まった。

ジューコフ名称航空宇宙防衛軍事アカデミーの責任者ウラジーミル・リャポロフ中将が明らかにした。

リャポロフ氏はラジオ局「モスクワのこだま」で、現在未来のミサイル専門家らが一般科目を学んでおり、まもなく専門の習得を開始すると説明した。ロシアのマスコミが報じた。

2月、最新の地対空ミサイルシステムS500の開発が予定通り進められており、最初のプロトタイプが2020年までに準備されると報じられた。

S-500は新世代の「地対空」ミサイルシステムで、S-300やS-400の代替になる予定。弾道ミサイルや、飛行機、ヘリコプター、巡航ミサイルなどの飛行目標物を破壊することが可能。

<http://sptnkne.ws/dDgK>

金正男氏の司法解剖の結果が明らかになる

(アップデート 2017年02月26日 16:13)

◎ AP Photo/ Fuji TV <https://goo.gl/BQyLf7>

北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の異母兄にあたる金正男氏が殺害された事件で、司法解剖の結果、正男氏の死因は、神経剤による強い麻痺であることが分かった。AP通信が、マレーシアのスプラマニウム保健相の発言を引用して伝えた。

保健相は、警察の発表は化学物質の作用による「非常に強い麻痺」によって「非常に迅速」に死が訪れたことを示した解剖結果を確認した、と指摘した。なおマレーシア警察は、正男氏が襲われた空港ターミナルでの検査を終了したが、化学物質VXの痕跡は検出されなかったという。

<http://sptnkne.ws/dDhZ>

イラクで国内最大の埋葬地が見つかる

(アップデート 2017年02月26日 17:46)

◎ AFP 2016/ Georges Gobet <https://goo.gl/c8XxuA>

イラクで4,000体の遺体が埋葬された埋葬地が見つかった。テレグラフ紙は25日、これはイラク最大の共同墓地だと報じた。テレグラフ紙によると、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の戦闘員らは2014年にモスルを占拠した後、ハスファ周辺に自然に形成された穴を事実上すぐに埋葬地として使い始めた。

埋葬地はモスルとバグダッドを結ぶ道路の近くに位置している。目撃者らは、テロリストらがトラックで人々を運び、射殺し、遺体を穴に入れたと主張している。殺害された人々の中には、モスル占拠の際に捕虜となった治安部隊がいる。

先の報道では、シリア北部アルバブがテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」から完全に解放された。

<http://sptnkne.ws/dDkC>

ザハロフ報道官 WADAの発表にコメントする

(アップデート 2017年02月26日 18:17)

© Sputnik/ Anton Denisov <https://goo.gl/tZ0Q1q>

世界アンチ・ドーピング機関（WADA）はフェイスブックで、ロシア人選手がドーピングをした証拠は不十分だと発表した。

ロシア外務省のザハロフ報道官はこれを受け、国際機関の職員らはこの明白な事実を認めるために6ヵ月を費やしたと指摘し、ロシア人選手たちに対して「証明されていない罪に対する連帯責任の原則」を適用したとし、世界のスポーツにとってのこれらの損害は、今後評価されることになると強調した。

先の報道では、世界アンチ・ドーピング機関（WADA）は、リチャード・マクラレン氏率いるWADA独立委員会の報告書について、ロシア人選手がアンチ・ドーピング規則違反に関与したとする証拠が不十分であることを認めた。

<http://sptnkne.ws/dDmw>

フィリピンでドゥテルテ大統領の政策に反対する集会が開かれる

(アップデート 2017年02月26日 19:58)

© AP Photo/ Bullit Marquez <https://goo.gl/mcI9bD>

フィリピンで25日、フェルディナンド・マルコス元大統領の独裁政権を打倒した「黄色革命」から31年の記念日に、ドゥテルテ大統領の政策に反対する集会が開かれた。

集会の参加者らによると、ドゥテルテ大統領は裁判なしで処罰や麻薬取引の容疑者らの取り調べを命じ、人権を無視しているという。

またドゥテルテ大統領を批判していたレイラ・デリマ上院議員が 24 日に逮捕されたことも、集会開催のきっかけとなった。

デリマ議員は、麻薬取引に関与したとする疑いが持たれているが、議員は全ての容疑を否定している。大統領反対派はデリマ議員の逮捕について、純粋に政治的なものだとの見方を示している。

先の報道では、フィリピンのドゥテルテ大統領は米国に対し、フィリピン国内の米軍の一時配備が行われる土地での兵舎および燃料保管庫の建設続行を許可した。

<http://sptnkne.ws/dDpr>

ソウルで大規模集会が開かれる

(アップデート 2017 年 02 月 26 日 21:34)

© AP Photo/ Lee Jin-man <https://goo.gl/m2DMXu>

韓国の首都ソウルで、朴槿恵大統領の退陣を要求する 17 回目の集会が開かれ、約 80 万人が参加した。集会の参加者らは特に朴大統領の弾劾手続きの加速や、憲法裁判所での迅速な審理を求めた。連邦通信社が報じた。なおソウルでは、大統領支持者の集会も開かれた。同支持者らは、大統領退陣に北朝鮮当局が関与していると述べている。

先の報道では、韓国・釜山の日本総領事館前に設置された慰安婦被害を象徴する少女像を巡り、韓国外務省が 14 日に、釜山市や設置場所の道路を管理する同市東区に像の移転を求める文書を送っていたと、複数の韓国メディアが 23 日伝えた。

<http://sptnkne.ws/dDrh>

クリルでの共同経済活動計画の本質は？

(アップデート 2017 年 02 月 26 日 22:14)

© Sputnik/ Sergei Krasnoukhov <https://goo.gl/ohPCKJ>

日本政府は、クリル諸島での共同経済活動の詳細なプランをロシアへ提案する準備をしている。26 日、日本経済新聞が報じた。

日経新聞によると、東京で 3 月 18 日に開かれる南クリルでの共同経済活動に関する協議に向けて日本政府は、南クリル諸島の住民らに北海道の医療専門家らが医療支援を提供する案を提唱した。

またロシアと日本の民間企業は、日本人観光客向けのクルーズ運航（島への上陸はなし）ができ

るようになる可能性があり、漁業に関しては、サケ、マスやその他の魚の加工工場の共同運営などが提案される見込み。

<http://sptnkne.ws/dDrK>

米国 国連人権理事会から脱退の可能性

(アップデート 2017年02月26日 22:43)

© AP Photo/ Seth Wenig <https://goo.gl/3bFGQb>

トランプ米政権は、国連人権理事会から脱退する可能性を検討している。雑誌Politicoが、政府関係者の情報を引用して伝えた。

消息筋によると、米国は国連人権理事会がイスラエルの入植活動を非難する国連決議の採択に影響を及ぼした可能性があるため、同理事会から脱退する可能性があるという。

なお消息筋は、国連人権理事会の次回会期で問題が議論される予定だが、米国がどのような結論を出すかは不明だと指摘した。

先の報道では、2016年12月23日、国連安保理はイスラエルに対してパレスチナ領域を占拠した場所における建設をやめるよう求める決議を採択している。

<http://sptnkne.ws/dDs3>

ロシア航空宇宙軍及び海軍航空隊 今年航空機・ヘリ約160機受け取る

(アップデート 2017年02月26日 23:44)

© AFP 2016/ Fayez Nureldine <https://goo.gl/KyQWdQ>

今年ロシア航空宇宙軍及び海軍航空隊は、およそ160機の航空機やヘリコプターを受け取る。ロシア航空宇宙軍のヴィクトル・ボンダレフ総司令官が記者団に伝えた。

総司令官の言葉によれば、現在ロシア航空宇宙軍の全部隊が有する航空機やヘリ全体は、100%充足しており、新型機の割合は約55%である。

またボンダレフ総司令官は「我々は、買い入れを続け、受け取り続けている。工場は、設計能力に達した。航空機やヘリの供給に、現在問題はない」と強調した。

先の報道では、ロシアで次世代地对空ミサイルシステムS-500の作業のための専門家の養成が初

めて始まった。

<http://sptnkne.ws/dDtG>

露上院議員「ロシアと日本はクリルでの共同活動から恩恵を受ける」

(アップデート 2017年02月27日 00:21)

© Sputnik/ Vladimir Fedorenko <https://goo.gl/kIR4zY>

ロシアのアレクセイ・プシコフ上院議員は、自身のツイッターのミニブログの中で、クリルにおける共同経済活動に関する日本政府の計画をコメントした。

twitter.com/ <https://goo.gl/0G1pzC>

ロシアのアレクセイ・プシコフ上院議員は、自身のツイッターのミニブログの中で、クリルにおける共同経済活動に関する日本政府の計画をコメントし「そうした活動から、両国は恩恵を受ける。ロシアはずっと以前から、それを提案してきた。クリルにとっても、日本との関係にとってもよいことだ」と指摘した。

先に、日経新聞は、東京で3月18日に開かれる南クリルでの共同経済活動に関する協議に向けて日本政府が南クリル諸島の住民らに北海道の医療専門家らが医療支援を提供する案を提唱したと伝えた。

<http://sptnkne.ws/dD3u>

朴氏を巡るスキャンダル、今日結審か？

(アップデート 2017年02月27日 07:06)

© AFP 2016/ Ed Jones <https://goo.gl/OHnNdv>

共同通信によれば、韓国国会が弾劾訴追した朴槿恵大統領の罷免の可否を審理する憲法裁判所は27日午後に結審する予定がある。憲法裁は既に実質的な審理を終えており、27日に結審した上、3月上旬に決定を出す意向とみられる。朴氏の代理人弁護士らは審理が拙速と主張する。結審を遅延させるため、何らかの手続きを求める可能性があり、弁護団は一斉辞任も可能。

審理の弁論は既に16回開かれたが、朴氏は出廷していない。今回も憲法裁が結審当日でも陳述の機会を与えると表明したのに対し、朴氏側は26日、本人は出廷しないと連絡した。理由は代表の弁護士らも「分からない」と報じられた。

先に伝えられたところによると、朴大統領周辺の政治・汚職スキャンダルが燃え上がったのは、大統領が秘書ではなく、親友である崔順実被告に公開前の数十の演説文を渡していたという情報が報道各社が手に入れた後のこと。こうして崔被告は民間人でありながら、国政に介入した。崔被告は、同国でシャーマニズムの新興宗教団体の開祖となり、1994年に死亡した崔太敏の娘。

崔被告はまた、政治的影響力を用いて圧力をかけ、韓国大企業に対して、自身が実質支配していたとされる文化支援財団「ミル財団」とスポーツ支援財団「Kスポーツ財団」への資金拠出を強要した容疑がある。これら財団の口座には52企業と19のビジネスグループから約7,000万ドルが振り込まれていた。

検察は11月20日、崔被告を起訴した上で、大統領自身も「相当部分、共謀関係」にあった疑いがかけられていると発表した。崔被告は逮捕された。崔被告の他、アン・ジョンボム前政策調整首席秘書官とチョン・ホソン前付属秘書官の2人が職権濫用と汚職の罪で起訴された。

<http://sptnkne.ws/dD4n>

ロシアの新世代爆撃機【動画】

(アップデート 2017年02月27日 07:36)

○ 写真: Ministry of defence of the Russian Federation <https://goo.gl/tRhQYw>

ロシア航空宇宙軍用の新たな戦略爆撃機（長距離飛行用の次世代航空複合体、PAK DA）の開発者たちは、素案を擁護した。国立航空システム研究所が伝えた。現在装備されている長距離爆撃機ツポレフ 22M3、戦略爆撃機ツポレフ 95 とツポレフ 160 の3種類の航空機全てが長距離航空機 PAK DA に代わる予定。

PAK DA を製造する際には、経済的要素も考慮される。ツポレフ 160 は未だにそれを凌駕するものはない傑作だが、非常に高価だ。新たな爆撃機はツポレフ 160 よりも安価となり、より大量に生産される。

動画 <https://youtu.be/WNq1RfG6LLY>

新たな爆撃機の開発は2013年から行われている。「全翼機」の図式で製造され、亜音速で飛行する予定。先に伝えられたところによると、ロシア太平洋艦隊向けディーゼルエレクトリック潜水艦プロジェクト 636.3「ワルシャワнка」の最初の2隻の建造が、今年2017年末までにサンクトペテルブルグのアドミラルティスキエ造船所で始まる。

<http://sptnkne.ws/dD3c>

熱く踊るイタリアおじさん ネットで大人気！【動画】

(アップデート 2017年02月27日 08:16)

© Flickr.com/Steve Slater (Wildlife Encounters)/cc-by <https://goo.gl/cgmHnI>

街頭を流れる音楽に合わせて踊る、ちょっとばかり年配のイタリア人男性が、ネットユーザーの間で人気者になっている。

この踊る男性をビデオに収めたのは、ジャーナリストのアルベルト・フォルニ氏で、彼はこのヒーローを、ボローニャのある通りで偶然見つけた。フォルニ氏は、男性の名前を知ることはできなかったが、そんなことは彼が人気者となる妨げにはならなかった。

投稿してから数日間で、踊るイタリアおじさんの動画へのアクセス数は40万を越えた。

動画 <https://goo.gl/wu6cHB>

先の報道では、16日、天気予報士のジェニファー・パグレイさんが米国のスプリングフィールド市から降雪の実況中継をしていると、パグレイさんの背後に突如として雪男が現れ、つまづきながら彼女のほうに近づいてきた。

<http://sptnkne.ws/dD2T>

法王、治安実現ため南スーダン訪問検討

(アップデート 2017年02月27日 08:44)

© AFP 2016/ Alessandro Bianchi <https://goo.gl/v8i6FV>

ローマ法王フランシスコは26日、内戦が続く南スーダンを訪れる可能性を検討していると述べた。共同通信が報じた。時期など具体的な内容は語らなかった。同国のカトリック司教団が昨年10月に訪問を要請し、法王も前向きな姿勢を示しているとされる。ただ、治安上の懸念もあり、実現するか不透明だ。

南スーダン各地では戦闘が続き、危機的な食料不足に陥っている。法王は日ごろから南スーダンなどアフリカの情勢を憂慮し、対話を通じた和解と平和の構築を呼び掛けている。法王は今年5月にポルトガル、年内にインドとバングラデシュを訪れる予定で、アフリカ訪問も計画しているとされる。

<http://sptnkne.ws/dD4w>

イラン インド洋で大規模な海上軍事演習開始

(アップデート 2017年02月27日 09:24)

© AFP 2016/ Ebrahim Noroozi <https://goo.gl/5MuCFi>

イラン海軍は、インド洋北部で大規模軍事演習「ヴェラヤト 95」を開始した。イランの Tasnim 通信が伝えた。演習は、イラン海軍司令官、ハビブッラ・サヤリ海軍少将の指示により開始された。伝えられるところでは、演習実施ゾーンは、約 200 万平方キロに及び、北緯 10 度地区にある。

先にサヤリ海軍少将は、海上軍事演習「ヴェラヤト 95」では、戦術演習や諜報作戦、ミサイルや魚雷の発射、さらには救助作戦などが行われると発表している。

先の報道では、ロシアとイランは、核燃料の共同製造に向けた「ロードマップ」を承認した。イランのサレヒ副大統領兼原子力庁長官が、イラン学生通信 (ISNA) のインタビューの中で明らかにした。

<http://sptnkne.ws/dD4z>

EU創設国の議会が連邦形成を呼びかける

(アップデート 2017年02月27日 10:19)

© AFP 2016/ John Macdougall <https://goo.gl/bSxlu5>

ドイツ、イタリア、フランス、ルクセンブルクの議会の議長らが、欧州統合の強化と、既存の EU を基盤にした連邦形成を呼びかけた。公開書簡は 26 日、トリノの新聞 La Stampa に掲載された。文書では「より緊密な政治的統合である広範な権限を有する国々の連邦連合に向かって進む時期が訪れた。我々はこのような将来の展望が強い抵抗を呼ぶものの、複数の惰性がすべての停滞となることはできないのをよく知っている」と述べられている。

書簡には、ドイツ連邦議会のノルベルト・ランメルト議長、フランス国民議会のクロード・バルトローヌ議長、イタリア下院のラウラ・ボルドリーニ議長、ルクセンブルク国民議会のマルス・ディ・バルトロメオ議長が署名した。

先の報道では、オーストリアの新聞 Die Presse は、掲載した論文の中で「EU は、抜本的な機構改革を必要としている。なぜなら欧州の統一は、勢力を増しつつある右派ポピュリストらの運動に、そして若干の EU 加盟諸国の野望に脅かされているからだ」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/dD43>

トルコのパイロット「ダーイシュ」への空爆前に「塩を振りかける料理人」のミームを真似る【動画】

(アップデート 2017年02月27日 11:21)

© AP Photo/ <https://goo.gl/H2Z9wc>

トルコのパイロットが、ミームとなった肉に塩を振りかける料理人ヌスレタ・ギョクチェさんのジェスチャーを真似した。ヒュッリエト紙が報じた。

ヒュッリエトによると、トルコのパイロットは、シリア北部アルバブでの「ユーフラテスの盾」作戦でテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」に対する空爆を行う前に、料理人のジェスチャーを真似た。

動画 <https://goo.gl/UGE2re>

パイロットが料理人のジェスチャーを真似る動画は、SNSユーザーの間で人気となった。

<http://sptnkne.ws/dD46>

米アカデミー賞授賞式、トランプ氏批判舞台に

(アップデート 2017年02月27日 11:54)

© AP Photo/ Chris Pizzello <https://goo.gl/dHrxTx>

米ハリウッドで26日に開催される米映画最大の祭典、アカデミー賞授賞式では、移民や性的少数者らへの排他的な政策をとるトランプ大統領への批判が相次ぐとみられる。共同通信が報じた。アカデミー賞授賞式などハリウッドの式典では出席者が多様性を重んじて政治的な発言をすることはあるが、現職大統領への批判が集中する事態となれば極めて異例。

米メディアによると、26日の会場では、移民の支援活動などをする人権団体の全米市民自由連合（ACLU）への支持を意味する青いリボンを身に付けてレッドカーペットを歩く受賞候補者の姿も見られた。

授賞式の間にはニューヨーク・タイムズ紙が「真実が今ほど重要な時はない」というメッセージのテレビ広告を流すという。これに対しトランプ氏は「落ち目のニューヨーク・タイムズが失墜した名声を取り戻すために初めて広告（悪いやつ）を流す。正確かつ公正に報道するんだな！」とツイッターで反応した。

<http://sptnkne.ws/dD48>

Brexit 後、英国では欧州の移民たちに何が起こるのか？

(アップデート 2017 年 02 月 27 日 14:14)

© REUTERS/ Neil Hall <https://goo.gl/kexBYx>

英国政府は EU 離脱 (Brexit) 前に、EU 市民に対する新たな移民規則を規定した法を発効する計画。サンデー・タイムズが報じた。

サンデー・タイムズは「経済の主要セクターに就職する移民に複数年有効のビザを提供すると同時に、やって来たばかりの人々に対する社会的便益へのアクセスを制限することを目的とする全世界に対する移民政策の最も大規模な『振り払い』が待ち受けている」と報じた。同計画は文書化される見込みで、公表されるのは夏になる計画。新たな法案は 2018 年初頭に公表され、政府は英国が EU から離脱する前に発効させる考え。

先の報道では、英国政府は EU 離脱に関する 1 2 項目のコンセプトを発表した。英内閣はこのコンセプトに従って離脱プロセスを進める。コンセプトはデービス EU 離脱担当相によって議会に提出された。

<http://sptnkne.ws/dD5B>

ルーマニア抗議者が欧州旗を形成

(アップデート 2017 年 02 月 27 日 16:40)

© AFP 2016/ Daniel Mihailescu <https://goo.gl/IK94DY>

AP 通信は、ルーマニアで続く抗議デモに数千人が参加していると報じている。デモ参加者は 26 日夜、同国首都ブカレストの勝利広場に集まった。反政府デモの参加者は「退陣！」「おまえらは泥棒だ！」というスローガンを叫んだ。抗議中、デモ参加者は青地に 12 個の金色の星が環状に配列された欧州旗の形を形成した。警察当局は広場に続く道を封鎖した。反政府デモはルーマニア全土ですでに 27 日間連続で行われている。

<http://sptnkne.ws/dD85>

故ネムツォフ氏追悼行進がモスクワで

(アップデート 2017 年 02 月 27 日 17:12)

© REUTERS/ Maxim Shemetov <https://goo.gl/nBIjVm>

26 日夜、モスクワ中心部のクレムリンに近いポリショイ・モスクヴァレツキー橋 (大モスクワ川

橋) 上では2年前にこの場所で殺害された政治家のヴォリス・ネムツォフ氏を偲んで反体制派らが顕花を行った。追悼集会は騒乱なく行われ、ネムツォフ氏殺害現場は花で埋もれた。

昨日、橋での顕花より前、モスクワ中心部ではネムツォフ氏の追悼行進が行われていた。行進参加者の大半がネムツォフ氏の写真および発言の引用をプラカードを手にして歩き、ロシア国旗、さまざまな政党の旗が掲げられ、リベラルな政党の使用する決まり文句のスローガンが叫ばれた。

<http://sptnkne.ws/dD9w>

ロシア仏教徒、陰暦で丁酉の年を迎える

(アップデート 2017年02月27日 18:04)

© Sputnik/ Alexei Danichev <https://goo.gl/J1yhjm>

陰暦の新年を今日、ロシアの仏教徒らが迎える。日の出とともに、去る丙申の年から丁酉の年に変わる。ロシア仏教伝統僧伽が伝えた。仏教の占星術の予測によると、「新年の主な質的特徴となるのはエネルギー、浩然の気、喜び、スポーツ、熱心、熱情」だ。「丁酉の年は商売、娯楽、余暇産業の分野にとって非常に好適なものだ。」

ブリヤート共和国、ザバイカル共和国、イルクーツク州のウスチオルダ・ブリヤート自治管区では27日、公式に休日が発表された。この日から、サガールガンという、伝統的に1ヵ月続く祝祭が始まる。

<http://sptnkne.ws/dD9H>

シリア軍 パルミラ付近の高所をダーイシュから奪還

(アップデート 2017年02月27日 18:23)

© Sputnik/ Maksim Blinov <https://goo.gl/KqWY3l>

シリア軍は反体制派の同盟部隊の支援を得て、パルミラの南東にある戦略的に重要な高所を占領していた国際テロ組織「ダーイシュ (IS、イスラム国)」の武装戦闘員らを空爆した。シリアのSANA通信が軍部の消息筋の情報を引用して報じた。情報によれば、26日の夜までにシリア軍は山岳地区のエル・ハヤルの939.5高所を掌握した。シリア軍情報筋によれば、これにより戦闘員の大多数が殲滅され、多数の軍事機器が破壊された。

<http://sptnkne.ws/dDBk>

クリミアでの橋建設で海峡に住むイルカが増加

(アップデート 2017年02月27日 18:40)

© REUTERS/ Wolfgang Rattay <https://goo.gl/yIhgPD>

情報センター「クリミアの橋」は、クリミアで行われている橋の建設により、黒海とアゾフ海を結ぶケルチ海峡のイルカの個体数が増えたと伝えている。

数日間、専門家は同海域で1000頭以上のイルカを確認した。生態学者はこれを、同海域で魚の数が10倍に増えたことで説明する。魚の増加は、橋の杭に活発に海草が育つことによる魚の餌の増加に関係している。

クリミアとクラスノダール地方を繋ぐことになる、ケルチ海峡を通る橋の長さは19キロとなり、ロシア最長の橋となる。

<http://sptnkne.ws/dDBH>

正教徒の大精進が今日から開始

(アップデート 2017年02月27日 19:17)

© Sputnik/ Pavel Lisitsyn <https://goo.gl/94CT2U>

今日からロシア正教の暦では大精進（ヴェリーキー・ポスト）が開始。大精進は謝肉祭（マースレニツァ）が終了した翌日から復活祭（パスハ）までの40日間をさす。この間、正教徒は物質、精神両面で無駄を慎まねばならず、肉、魚など動物性の食物を避け、頻繁に教会の礼拝に通い、困っている人に手を差し伸べねばならない。

正教の宗教暦は陰暦に基づいているため、復活祭はカトリック教徒の暦と必ずしも一致しないが、今年の陰暦では両方の復活祭とも4月16日に重なった。大精進の40日は信者らにとってはイエスキリストが荒野で行った40日間の精進を思い起こすための期間とされている。

<http://sptnkne.ws/dDDq>

金正男の暗殺は北朝鮮秘密警察により組織－韓国情報機関

(アップデート 2017年02月27日 19:24)

◎ 写真: Capture d'écran: Youtube <https://goo.gl/2QF0yk>

マレーシアで起きた北朝鮮の金正恩（キム・ジョンウン）朝鮮労働党委員長の異母兄、金正男（ジ

ョンナム) 氏暗殺は北朝鮮政府によって組織された。聯合ニュースが 27 日に報じるところ、韓国の情報機関代表が韓国国会の議員向けの非公開式公聴会で述べた。聯合ニュースは情報機関の次の言葉を報じた。

「犯行の関与が疑われている 8 人のうち 4 人は北の国家保衛省の関係者であり 2 人は外務省関係者だ。」

金正男氏殺害の件では、少なくとも 8 人の容疑者がいる。うち、ベトナム国籍とインドネシア国籍の女性、彼女らに近い知り合いのマレーシア国籍の男、北朝鮮国籍の男はすでに逮捕された。さらに 4 人の北朝鮮国籍の人物は事件が発生した日にマレーシアの首都クアラルンプールを後にし、現在は北朝鮮の平壤にいる。

<http://sptnkne.ws/dDDF>

E U、対北朝鮮制裁を強化

(アップデート 2017 年 02 月 27 日 23:29)

© Flickr/ Giampaolo Squarcina <https://goo.gl/5BVhEt>

欧州議会は、E Uが昨年 11 月 30 日の国連安保理の決議に則り対北朝鮮制裁を強める決定をして、北朝鮮からの石炭、鉄、鉄鉱石の輸入取引を制限し、銅、ニッケル、銀、亜鉛の輸入を禁止すると発表した。E Uはまた北朝鮮への新型ヘリや船舶の輸出を禁止し、輸送、金融分野における現行の制限を強化し、北朝鮮外交官の仕事を複雑化した。リアーノーヴォスチが報じた。

伝えられるところ、北朝鮮は 2 月、ある評価によると 1 万 2,000 キロの射程を持つミサイルの発射実験を行った。

<http://sptnkne.ws/dDHD>

安倍首相はロシアとの関係を密にすることについてトランプ大統領の支持を取り付けた。しかもそれだけではない

(アップデート 2017 年 02 月 27 日 22:02 タチヤナ・フロニ)

© AFP 2016/ Brendan Smialowski <https://goo.gl/VHu0BY>

安倍首相は、トランプ米大統領の支持を受けて「クリル問題」を解決する。ジャパントイムズは、最近行われた安倍首相とトランプ大統領の会談後、このような見解をとっている。ジャパントイムズによると、これはトランプ大統領との初会談から戻った安倍首相が自ら語ったことだ。安倍首相は、長引く領土紛争を解決するためにロシアとの関係を密にすることについてトランプ大統領の支

持を取り付けたとの旨を述べた。

トランプ大統領との会談前に同氏の今後の対ロシア外交方針で安倍首相を最も不安にさせたものは何か？ ロシア科学アカデミー極東研究所日本研究センターのワレリー・キスタノフ所長は、「スプートニク」に次のような見方を表した—

「安倍首相は、トランプ氏がロシアとの関係を改善する方針をとった場合、プーチン大統領が日本を必要とする根拠が少なくなることを非常に懸念していた。その場合ロシアは孤立から脱するためロシアには領土問題の解決策を模索するインセンティブが低下し、日本はこの問題で何らかの譲歩をしなければならなくなる。だがどうやら今これらの懸念は安倍首相の中で二義的なものになった。安倍首相はロシアとの対話におけるトランプ氏側からの障害を一切感じなかった。またトランプ氏は、以前オバマ大統領が安倍首相との会談でいつも述べていたようなことを一切言わなかった。オバマ大統領は日本の首相にロシアとの関係を密にするための適切な時期を選び、G 7の対ロシア制裁措置に抵触しないよう粘り強く助言した。だがトランプ氏はそのようなことを一切言わなかった。そのため安倍首相は、ロシアとの対話を前進させる一定の白紙委任を受け取ったと述べることができたのだ。」

注目に値するのは、ロシアに関する安倍首相の計画は巨大だということだ。キスタノフ氏は、安倍首相は4月にロシアを訪問する意向であり、9月には恐らく昨年同様ウラジオストクの東方経済フォーラムに訪れるだろうと指摘し、次のように語っている—

「今日両国にとって最も重要な課題は効果的な解決策を見つけること、いかなる法的根拠に基づいてクリルでの共同経済活動を実現するかということだ。私が知る限り、ロシア側の提案はすでに準備が整っている。それらはトルトネフ氏（ロシア極東連邦管区大統領全権代表）によって提案され、すでにロシア首相のテーブルの上にある。日本側からは、共同経済活動関連協議会が設置された。したがってメカニズムはすでに始動し、作業が進められている。」

注目に値するのは、安倍首相にとってロシアとの関係における優先事項はクリル問題に限られてはいないということだ。米国から帰国した安倍首相はメディアに対し、シリアやウクライナの紛争を含む世界の主要な問題を解決するためにプーチン大統領と対話をするというトランプ氏の意欲にも同調していると伝えた。

<http://sptnkne.ws/dDJ3>

金正男氏のV X中毒は、北朝鮮に化学兵器がある証拠にはならない

(アップデート 2017年02月28日 07:57 ドミトリー・ヴェルホトウロフ)

© REUTERS/ Lim Se-young/News1 <https://goo.gl/3EhhTK>

北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の異母兄、金正男氏の死因が、有毒化学物質V Xによる中毒死

だったことは、この謎めいた殺人事件にまったく新たな政治的意味を与えた。

今回の事件でVXが使用されたのを受け、これは北朝鮮が化学兵器を貯蔵していることを意味しているのだろうか？ と議論されるようになった。いずれにせよAP通信は韓国軍の情報を引用し、北朝鮮が5,000トンの化学兵器を保有していると報じた。

これを受け、2003年に化学兵器を製造、貯蔵しているとして非難されたイラクの例が思い出される。これはサダム・フセインの打倒で終わったイラクに対する軍事作戦を行うための根拠となった。だがイラクで化学兵器は見つからず、英国警察の活動を調査する独立分析センターThe Police Foundationの会長、ジョン・チルコット卿の独立調査は、英情報機関の報告書が改ざんされていたことを示した。

マレーシアの空港でVXが使用されたことを、北朝鮮に化学兵器があるという直接の証拠として使うことはできない。なぜならVXがヒトの皮膚に付着した場合の致死量はわずか100マイクログラム、あるいは体重1キログラム当たり0.0001グラムであり、金正男氏以外に殺害の実行犯も含めて犠牲者がいなかったという事実は、VXの量がわずかだったことを物語っている。なおマレーシアの専門家らは、物資の特定に時間がかかった。このような少量の化学物質は実験室で製造することが可能だ。

VXの合成方法は他の化学物質と同様、専門文献や公開特許から簡単に見つけることができる。化学に関する教育を受けていたり、実験室で働いた経験があれば、必要な機器、また1人を毒殺するのに十分な少量のVXの試薬を用いて実験室で実際に製造するのは可能だ。秘密の実験室の可能性については、「オウム真理教」が自ら製造し、東京の地下鉄でガス攻撃のために使用したサリンの事実が物語っている。したがって今回の事件で有毒化学物質が使用されたことを、北朝鮮による同物質の保有と結びつけるのは、少なくとも正しいことではない。

犯行現場ならびにVXを兵器として選んだことは、殺人を企てた者たちが金正男氏の動きを追跡し、彼らにとってより安全な場所で暗殺するためのリソースやエージェントを恐らく持っていなかったことを物語っている。空港は正男氏に近づける唯一のポイントだった。だが空港に武器を持ち込むのは事実上不可能だ。しかし毒物VXは、例えばアセトンで溶かして香水の瓶に入れ、少しの疑いなく空港に持ち込むことができる。この状況は、限られたリソースしか持たないが、例えば南北朝鮮の軍事紛争を挑発するなど、韓国の政策に影響を与えることを願う者によって今回の殺人が組織されたという考えを抱かせる。

もし「誰が利益を得るのか？」と考えた場合、この世間を騒がせている殺人からまず利益を得るのは、北朝鮮の敵だ。正男氏が北朝鮮の政策に与えていた影響はごくわずかだった。同氏が政権に対して批判的に語ったり、北朝鮮には経済改革が必要だと述べることも時折あったが、北朝鮮のリーダーになることを主張したことは明らかになく、北朝鮮に帰ろうともしなかった。中国のマカオに住んでいたプレイボーイでギャンブル好きな正男氏のライフスタイルを、北朝鮮のほとんどの人は知らなかった。

したがって正男氏の殺人に北朝鮮が関与したという説は許容可能ではあるが、唯一のものではない。これはナンセンスだとする北朝鮮のあらゆる声明は北朝鮮の評判を落としてはいるものの、同事件への北朝鮮の関与、さらには北朝鮮が化学兵器を貯蔵していると示唆する同事件を巡る騒ぎを支持することは、根拠がなく危険だ。これは深刻な対立を引き起こす恐れがある。北朝鮮が同事件に関与したことを確認、あるいは否定することができるのは、拘束者らの証言の裏付けされた事実だ。なお殺人を企てた者たちが、監視カメラに実行犯の顔が捉えられることを考え、彼らをただやみくもに使った可能性もある。

<http://sptnkne.ws/dDNK>

シリアへ：ロシアのフリゲート「アドミラル・グリゴロヴィチ」が地中海へ向かう

(アップデート 2017年02月28日 02:17)

© Sputnik/ Sergey Malgavko 1/3 <https://goo.gl/9xtbvZ>

ロシア海軍のフリゲート「アドミラル・グリゴロヴィチ」が、セヴァストポリ港を出港して地中海へ向かった。同フリゲートがシリア沖でロシアの艦船グループを強化するとみられている。警備艦「アドミラル・グリゴロヴィチ」は長い航海に向けた準備の際に、海に出て様々なタイプのヘリコプターが艦船の甲板から離着陸する訓練を行い、仮想敵の潜水艦に対して魚雷も発射した。

ロシア海軍によると、「アドミラル・グリゴロヴィチ」は十分に長期の予定で地中海へ向かった。なお軍事・外交筋によると、「アドミラル・グリゴロヴィチ」がシリアで戦闘員に対する巡航ミサイル攻撃のために使用されることはない。

先に「スプートニク」は、最近シリアで任務を終えて帰還したロシアの空母「アドミラル・クズネツォフ」の近代化計画について報じた。

<http://sptnkne.ws/dEcy>

トランプ大統領は軍拡競争を始めているのか？

(アップデート 2017年02月28日 08:41)

© AP Photo/ Mindaugas Kulbis <https://goo.gl/W23Kic>

トランプ大統領は、「米史上最大規模のひとつとなる軍増強プログラム」をスタートさせて、2018年から国防費を格段に上げる意向だと述べた。トランプ氏のプランでは、「防衛も、攻撃も、あるものすべての米軍全種を新たなレベルに引き上げ、今までになかったほど多く、良く、強く行う」とのことだ。

米ニューヨーク・タイムズが報じるところ、軍事費増大はすでに、今月 27 日に発表される予定の来年度予算案に組み込まれている。

トランプ大統領は就任した後、「私たちが受け取った予算は全くの無秩序だ。私たちの予算は泥にまみれているが、私たちはそれをふき取ろう」とオバマ大統領の遺産を痛烈に批判した。トランプ大統領が不満を持ったのは、米国予算の無駄だ。トランプ大統領は予算のうちの環境アセスメント、過剰な外交使節団、人文科学支援や貧しい人々の援助を浪費に分類している。これらのプログラムはトランプ政権において予算カットの脅威に晒されている。

<http://sptnkne.ws/dEb7>

ブッシュ元・米大統領、トランプ氏に警鐘を鳴らした

(アップデート 2017 年 02 月 28 日 12:06)

© AP Photo/ Pat Sullivan <https://goo.gl/oBTGU2>

ジョージ・W・ブッシュ (70) 元米大統領は 27 日、同じ共和党のドナルド・トランプ現大統領のメディア攻撃を暗に批判した。ブッシュ氏が政治やメディアに関して公の場で発言するのはまれ。

自身も第 43 代大統領を務めた際にはマスコミとのあつれきが絶えなかったブッシュ氏だが、27 日に NBC テレビの番組「トゥデイ」に出演した際には次のように語り、メディアを「米国民の敵」と批判するトランプ氏に異議を唱えた。

「私は、メディアは民主主義にとって不可欠だと考える。私のような人々に説明責任を果たさせていくため、メディアは必要だと思う。「権力には時に高い依存性があり、(人々を) むしばむものだ。権力を乱用する者の説明責任をメディアが追及していくことが重要だ」

さらにブッシュ氏はトランプ氏の発言について、外国に民主主義と報道の自由を求める米国の努力を損なうものだと指摘した。AFP 通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dEcj>

革命から 100 年：知られざる亡命者が日本に残してくれたもの

(アップデート 2017 年 02 月 28 日 09:11 徳山あすか)

© Flickr/ born1945 <https://goo.gl/qWTq96>

ロシアは、100 年という歳月のうちに、帝政ロシア、ソビエト連邦、そして現代ロシアと、政治体制が 3 回も変わった稀有な国だ。今年は、ロマノフ王朝が崩壊した二月革命から 100 周年を迎える。

当時、多数のロシア人が混乱する祖国を離れ、移民となった。内戦から逃れた人や、人種のために迫害を受けた人、政治体制に反対する人など、それぞれに様々な事情があった。

政治信条や人種に関わらず、革命後に祖国を逃れ移民した人々は、総称して白系ロシア人と呼ばれている。革命後、1921年までに約200万人がロシアから亡命した。そのうち日本へ何人くらい逃れてきたのか、正確な数字は不明だ。ロシア人の住民登録者数が最も多かったのは1930年（昭和5年）の1666人であるが、これはあくまでも居住者として登録された数。実際は未登録の人や日本を経由し第三国へ逃れていった人が相当数おり、革命直後は、おそらく五千人から一万人の間くらいという規模でロシア人が滞在していたと見られている。

スプートニクは、日露交流史と白系ロシア人の歴史に詳しい、埼玉大学の澤田和彦教授に話を伺った。澤田氏は「白系ロシア人の研究を始めたのは約20年前のことです。それまでこの分野は手付かずの状態であったため、まさに研究対象の宝庫であり、魅力を感じました。亡命してきた人たちの多くは、貧しく苦しい立場におかれながらも互いに助け合い、日本の社会と文化に影響を与えたのです。そんな彼らの功績を明らかにしたいと思いました」と話す。

白系ロシア人研究は、澤田氏らが立ち上げ・運営に携わった「来日ロシア人研究会」なしに語ることはできない。この研究会は、1980年代頃から活動していた「『ロシアと日本』研究会」の流れを汲み、1995年12月に活動を開始した。職業も国籍も一切問わないオープンな会で、研究発表の他に亡命ロシア人本人やその子孫を招くなどして情報収集を重ねてきたが、昨年10月、100回目の例会を区切りに活動を終了した。同会は「異郷に生きる-来日ロシア人の足跡」（成文社）という論文集を6冊刊行している。

来日ロシア人研究会の主要メンバー

◎ 写真：Kazuhiko Sawada <https://goo.gl/B6guPq>

澤田氏によれば、白系ロシア人が生計を立てる手段としては、まず羅紗（らしや）や洋服の行商があった。和服から洋服へ日本人の普段着が移行するにあたって、白系ロシア人はこれを促進した。バレエ、ピアノ、バイオリンを教えて優れた弟子を育てたのも彼らだ。エリアナ・パヴロワは、日本バレエの母とも言われている。1913年に開校したばかりの宝塚音楽学校で、ダンスや歌の教鞭をとった人もいた。スポーツ界では日本で初めての外国出身プロ野球選手となったヴィクトル・スタルヒン、製菓業界では高級チョコレートを日本にもたらしたフォードルとヴァレンチンのモロゾフ父子やマカール・ゴンチャロフといった人々が有名である。著名人を挙げればきりが無いが、スプートニクは澤田氏に依頼し、白系ロシア人の中でも、その功績を知っておくに値する人物を二人教えていただいた。彼らの生涯をご紹介します。

一人目は、ニコライ・マトヴェーエフ。1865年生まれの函館出身で、詩人・ジャーナリスト・編集者として多岐にわたり活躍した。彼はロシア人として初めて、日本で生まれたと言われている。父は函館のロシア領事館で働く准医師だった。父の死後ロシアへ戻ったマトヴェーエフは、ウラジオストクで様々な新聞社・雑誌社と組んで活躍し、市会議員にもなった。彼はカデット（立憲民主党）党员だったが、十月革命後、ボリシェヴィキにより「人民の敵」とみなされ党は活動を禁止さ

れてしまう。身の危険が迫る中、マトヴェーエフは祖国を離れざるを得なくなり、1919年に日本へ亡命した。まずは大阪、そのあと神戸に居を構えた。ロシア語の本の出版所を作ったり、子どものための本を書く傍ら、生計のため古書販売も手がけた。生涯を通じてジャーナリズムと文学に関わったマトヴェーエフは、1941年、75歳で亡くなった。ロシアの歴史学者アミール・ヒサムトヂノフ氏によれば、マトヴェーエフは長く病床についており、日本人の友人たちは彼のために治療費を集めただけでなく、子だくさんだったマトヴェーエフ家の生活費までも工面したという。それ程、人望のある人物だったのだろう。彼は今、神戸外国人墓地で眠っている。

マトヴェーエフと長男ゾーチク

◦ 写真：『日露交流都市物語』より <https://goo.gl/7xY4Fo>

もう一人は、ミハイル・グリゴリエフだ。彼は白系ロシア人の中でも抜群に日本語が堪能で、翻訳者として活躍した。彼の生涯はその語学力故に、非常に数奇なものになった。若き日のグリゴリエフはチタ（東シベリア南部の都市。日本軍のシベリア出兵によって1918年9月に日本占領下となった）の陸軍士官学校で日本語を学び、日本国陸軍特務機関の通訳となった。1920年、彼が21歳のとき、日本軍撤退が現実化するにおよび、日本人大佐の手引きで日本へ出国した。シベリア出兵は、日本に全く国益をもたらさなかった外交上の大失敗だと言われているが、澤田氏は「結果的に見ればグリゴリエフの活動は、数少ない成果のひとつ」と話す。グリゴリエフは日本人女性と結婚し、日本国籍を取得。翻訳家、音楽家、教師として活躍した。1938年、ハルビンへ移住し、南満州鉄道株式会社に籍を置く。この時代、彼は露文総合雑誌「東方評論」に、谷崎潤一郎「陰翳礼讃」、川端康成「高原」、夏目漱石「坊っちゃん」といった作品の露訳を提供し、日本文学の浸透に大いに貢献した。グリゴリエフは古文も漢文も訳すことができ、和文露訳の巧みさは誰もが賞賛したという。しかし彼は44歳の若さで、大連で人力車に乗っていたところ、路上に倒れて急死した。秘密を知りすぎて殺されたという説もあれば、過労死、心臓病だったという説もある。

澤田氏は、「亡命ロシア人の足跡をたどることは、思いの外、深みと広がりをもった仕事です。歴史は、人と人との地味なつながりが積み重なったもの。これからもこの仕事を続けていきます」と、研究のやりがいを話している。

グリゴリエフ夫妻

◦ 写真：『白系ロシア人と日本文化』 <https://goo.gl/XJ61NR>

<http://sptnkne.ws/dEcB>

日・米・韓会合、資金策で北朝鮮武器開発を抑制

(アップデート 2017年02月28日 09:28)

◦ REUTERS/ KCNA <https://goo.gl/uE3xlC>

日本と米国、韓国の首席代表は米首都ワシントンで会合を開き、核・ミサイル開発の資金源に制

裁をかける方法について協議した、と米・国務省が共同声明を発表した。その具体的な制裁方法について述べられていない。

三国間の外務用特使が参加した会合は米首都ワシントンで 28 日に開かれた。三国は、核・ミサイル開発を進める北朝鮮に対する追加制裁をかけた国連安保理第 227 決議を重視すると確認した。

<http://sptnkne.ws/dEcC>

アルカーイダのナンバー 2、シリアで米のミサイル攻撃で死亡

(アップデート 2017 年 02 月 28 日 10:54)

© REUTERS/ Khalil Ashawi <https://goo.gl/lgPzwh>

27 日、国際テロ組織アルカーイダ指導者の副官であるアブ・カイル・マスリ容疑者がシリアで米空軍による攻撃を受け、死亡した。過激派組織の情報交換をモニタリングする「SITE」ウェブサイトが報じた。

アブ・カイル・マスリ (Ahmed Hassan Abu al-Khayr al-Masri) 容疑者はシリア国内のアルカーイダのトップで、イドリブ県内で乗用車の中にいたところを攻撃されたという。

米国を始めとする有志連合は 2014 年からシリア・イラクで反テロ作戦を繰り返しているが、主に航空攻撃で限定して、留まっている。

米財務省は 2005 年、マスリ容疑者がアルカーイダと他のテロ組織との連絡・調整役を務めていたとしてテロ支援者に指定。国連安全保障理事会も 16 年、同容疑者を制裁対象リストに掲載した。

<http://sptnkne.ws/dEbR>

天皇皇后両陛下のベトナム・タイへの親善訪問は、最後の海外ご訪問？

(アップデート 2017 年 02 月 28 日 14:56)

© AFP 2016/ Toshifumi Kitamura <https://goo.gl/2nNdr6>

天皇皇后両陛下は 28 日午前、ベトナム公式訪問のため、政府専用機で首都ハノイへ向けて出発された。両陛下のベトナム訪問は初めて。3 月 5 日まで国賓としてベトナムに滞在した後、2016 年に死去したプミポン前国王の弔問のためタイに立ち寄り、3 月 6 日に帰国する。日本のマスコミが報じた。

今回のご訪問はベトナム政府からの招待を受けたもので、国際親善が目的。天皇陛下は羽田空港

で、「私どもの訪問が両国の相互理解と友好関係の更なる増進に資することを願っております」と述べられた。

両陛下は国家主席ら要人と面会されるほか、第二次世界大戦後にベトナムに残った元日本兵の家族らとの面会や、ベトナム最後の王朝の王宮などの視察などが予定されている。ベトナム公式訪問後は政府専用機でタイの首都バンコクに立ち寄り、長年にわたって交流を重ねてきたプミポン前国王を弔問、ワチラロンコン新国王と会見し、6日に帰国される。

なお、日本のマスコミが宮内庁関係者の話を引用して伝えたところによると、天皇陛下は83歳という高齢でのご訪問となるため、年齢や体調を考慮すると、両陛下による友好親善を旨とする海外へのご訪問は最後になる可能性があるという。

<http://sptnkne.ws/dEgp>

トランプ大統領、ホワイトハウス職員の電話を確認するよう命じる

(アップデート 2017年02月28日 15:44)

◎ REUTERS/ Joshua Roberts <https://goo.gl/15tHBP>

トランプ米大統領は、メディアに機密情報が漏れていると不満を表し、ホワイトハウスのスパイサー報道官に、情報漏えい者を見つけるためホワイトハウスの職員の電話をチェックするよう命じた。27日、CNNが消息筋の話を用いて報じた。

伝えられたところによると「トランプ大統領はメッセージが暗号化されるメッセージングアプリがあるかを調べるために、ショーン・スパイサー氏による職員の電話のチェックを自ら承認した」という。

トランプ米大統領は24日、マスコミに情報を漏れいした者がみつからないとして米連邦捜査局(FBI)に対する不満を表明した。特に、フリン前大統領補佐官(国家安全保障担当)とキスリャク駐米ロシア大使のやり取りの漏えいでは、フリン氏が辞任を余儀なくされている。

<http://sptnkne.ws/dEf9>

日本「2+2」でロシアのクリルへの師団配備計画についてロシアと議論へ

(アップデート 2017年02月28日 16:38)

◎ Flickr/ Peter <https://goo.gl/qV4kfl>

日本は、3月20日に東京で行われる露日外務・防衛閣僚協議(「2+2」)で、ロシアのクリル

諸島に師団を配備する計画に関する問題を提起する方針。28日、稲田防衛相が国会で述べた。防衛相は議員からの問いに、3月20日に東京で開かれる「2+2」で同テーマについて議論したいとの考えを表した。また岸田外相は、ロシアのこのような計画はクリル諸島が「日本固有の領土」とする日本の立場と相いれないとの考えを再び示した。ロシアのショイグ国防相は22日、クリル諸島防衛などのために4個師団を新設する計画を明らかにした。

<http://sptnkne.ws/dEgT>

Foxニュース 偽のスウェーデン顧問に関するミスを確認

(アップデート 2017年02月28日 17:45)

© AP Photo/ Jeff Christensen <https://goo.gl/THjSPb>

テレビ局Foxニュースの司会者、ビル・オライリー氏は、同氏が担当する番組のあるテーマの中でスウェーデンの防衛・国家安全保障担当顧問と紹介された専門家について、「政府の仕事に直接参加していない」ことを認めた。ニューヨーク・タイムズ紙が報じた。

先に、Foxニュースの番組「The O'Reilly Factor」にニルス・ビルトという名のゲストが出演した。司会者は同人物を、スウェーデンの防衛・国家安全保障担当顧問と紹介した。このビルトを名乗る人物は、スウェーデンの状況に懸念を表したトランプ米大統領の発言を支持し、スウェーデンにおける移民による混乱について語った。

その後スウェーデンの政府関係者は、ビルトという人物は安全保障当局とは何の関係も持っていないと発表した。なおビルトを名乗る人物は、テレビ局が放送前に自分の地位について根も葉もないことを考え出したと述べたが、Foxニュースはこれを否定している。

ニューヨーク・タイムズ紙は、この偽顧問の名字がトーリングであることを明らかにした。同氏は政治キャリアをスタートした2013年にスウェーデンのカール・ビルト元首相と同じビルトを名乗るようになったという。

<http://sptnkne.ws/dEjj>

露外務省 プーチン大統領とトランプ大統領の会談準備について語る

(アップデート 2017年02月28日 19:57)

© AFP 2016/ Odd Andersen, Jim Watson <https://goo.gl/bZ139E>

ロシアのリュブコフ外務次官は、ロシアのプーチン大統領と米国のトランプ大統領の会談に向けた実務的な準備について語った。リュブコフ氏は「露米首脳会談の日時や場所に関する認識はない

が、会談に向けた実務的準備は始まり、これについては米国側との相互理解がある」と述べた。

またリャプコフ氏は、トランプ大統領が 28 日に行う初の議会演説でのシグナルやアプローチをロシアは分析すると伝えた。トランプ氏は 28 日、米国の政策について米議会上下両院合同会議で演説する。

<http://sptnkne.ws/dEph>

露外務省 ロシアに対する「経済封鎖」を準備しているとして米議会を非難

(アップデート 2017 年 02 月 28 日 21:55)

© Sputnik/ Valery Melnikov <https://goo.gl/1cCVRB>

米議会の反ロシア派は、特別法案によってある種の経済封鎖のようなものを行おうとしている。ロシアのリャプコフ外務次官が述べた。

外務次官は「我々に悪意を抱く議会の人々は、関係のあらゆるポジティブな兆しを全力で踏みこじろうと努力している。今年 1 月には彼らによってオバマ前大統領の命令で発動された制裁をトランプ大統領が自分の意思で解除することができないようにするために、制裁の成文化を規定する法案が提出された」と述べた。さらにリャプコフ氏によると、制限措置の強化・拡大や、恐喝を用いて他の国をそれに参加させることが提案されているという。

次官は、ロシア外務省は「状況を脚色してはいない」と指摘し、トランプ大統領とそのチームには、外交政策ユニットの作業を整理し、優先事項を明確にするための時間が必要であることを理解しているとの考えを示した。

なお 22 日、ロシアはロシアのヴィタリー・チュルキン国連大使の死因捜査についてマスコミへの情報漏えいの事実を驚愕し、米政権に対してこうした情報は公式的なチャンネルを通して渡すよう呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/dEte>

日本がロシアとの合同経済活動予算を承認 小額予算が日本にもたらしうる多額の配当

(アップデート 2017 年 02 月 28 日 22:46 タチヤナ・フロニ)

© Flickr/ Peter <https://goo.gl/7FUXrW>

今までは日本側とクリル諸島での合同経済活動の問題など話し合われることさえなかった。日本がロシアに対して前向きにこうした歩みを行えば、日本の実業界はロシアの法律に基づいた取引を

結ばざるを得ず、これによってこの諸島に対するロシアの管轄を認めたことになるを受け止められてきた。ところが現在の二国間関係の発展段階では、複数の専門家らの見解では12月の安倍首相、プーチン大統領の会談以来、日本側が係争諸島でのそうした活動の開始に同意したことを示すあらゆる兆候が見られる。

確かに現時点では双方とも互いに受け入れ可能な妥協案を模索しており、詳細はまだつめられていない。それでも日本では予算承認の過程でロシアとの合同経済プロジェクトの資金がまず認められた。日本はクリル諸島で何に資金を使う用意があるのだろうか？ 何よりもまずこうした拠出で日本自身にどんな見返りがあるのだろうか？ これについて高等経済学校の日本の専門家、アンドレイ・フェシュン氏は次のように語っている。

「医療分野で日本はかなり高価な設備を提供する準備がある。こうした受注はカシオ、オムロンなどの日本企業にとっては利益になる。観光は今の時点では島への渡航が自由ではないため、より政治的なものにとどまるだろう。だがこれは十分に利益になる事業だと思う。他の分野ではロシアへの投資で基本的に本格的なものはまだ何も見えていない。ここには海産物加工工場があるが、刷新されたならば日本が必要としている生産物をそう高くない価格で供給できるだろう。つまり非常に頭がよく、プラグマティックな物の見方ができる日本人には自国に有益なこういった協力プログラムは受け入れられる。ロシアに対する投資は経済的というより政治的により大きな配当金を日本にもたらす。なぜなら日本の予算でこの目的で拠出された額はそんなに目立つものではないからだ。その数値を評価するだけで十分だ。」

ロシアとの経済協力プロジェクトの実現化にはおよそ35億円が見積もられている。フェシュン氏は、12月のプーチン大統領訪日で調印された契約総額は20億ドルを超えていたことを思えば、予算の割当額は実際小額だとして、さらに次のように語っている。

「このことからクリル諸島の合同開発の合意は現段階ではより政治的な歩みといえる。これは経済のものさしではどうやっても勘定ができない。クリル諸島のインフラ発展は巨額の出費を要する。港もシコタン島の小さな空港やカニ加工工場の刷新でも数十億ドル必要だ。だがおそらく、現時点では両国が政治的に接近することが一番大事なのであり、これがその後、進化的に発展し、本格的な経済協力へと姿を変える。たとえば三菱がクナシル島にハーバーを建設したいといえば、ガスプロムはシコタンの空港に投資し、一緒に大型ホテルやそこに通じる道を建設するだろう。」

こうなればクナシル島における露日の合同経済活動について本格的な公示も可能となるだろう。今の時点では諸島で合同で病院を建設する計画もない。だが日本が予算に割いたロシアのプロジェクトへのこうしたわずかな額も両国関係を著しく健全化し、領土論争の解決過程をより痛みの少ないものにすることを可能にするだろう。

<http://sptnkne.ws/dEvj>

トランプ米大統領 軍事予算の追加予定額を挙げる

(アップデート 2017年02月28日 23:42)

© AFP 2016/ Nicholas Kamm <https://goo.gl/ZgzTjw>

トランプ米大統領は米国の軍事予算はさらに 300 億ドル追加される可能性があるという声明を表した。これより前、米大統領府は軍事予算を 540 億ドル増やす計画であることが明らかになった。ところが米上院軍事委員会のジョン・マケイン委員長はすでにこの追加額では不十分との見解を表した。トランプ大統領はマケイン氏の批判に対して答えるかたちでフォックスニュースTVからのインタビューのなかで「我々は自国軍に多額を費やすつもりだ。実際のところ支出をさらに 300 億ドル引き上げることができる」と語っている。

<http://sptnkne.ws/dEyd>

ロシア外務省 対米関係改善に過度の期待はなし

(アップデート 2017年03月01日 01:32)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <https://goo.gl/BgI07p>

ロシア外務省のセルゲイ・リャブコフ次官は 28 日、対米関係の回復見込みについてはロシアは過度の期待や幻想を抱いていないとする声明を表した。

リャブコフ外務次官は下院（国会会議）で発言したなかで、「前オバマ政権の政策によって引き起こされた退化と奈落への落下時期を経験した後、現在我々には最低でも関係を平等なものにできるか、それとも理想的にはこれを上昇軌道に乗せる可能性が生まれた。ただしこれがうまくいくかどうかは今のところわからない。我々は過度の期待も幻想も抱いていない。ただ状況と可能性を冷静に判断している」と語った。

先の報道では、リャブコフ外務次官が米議会の反ロシア派は、特別法案によってある種の経済封鎖のようなものを行おうとしていると述べた。

<http://sptnkne.ws/dEyT>

化学兵器に関し、シリアに対する制裁を見越した国連安保理決議をロシアと中国が阻止

(アップデート 2017年03月01日 03:16)

© AFP 2016/ Philippe Desmaes <https://goo.gl/rzxHnP>

2月28日、シリアが化学兵器の使用に関与した疑いがあるとして同国の代表らに対する制裁を見

越した国連安保理決議を ロシアと中国が阻止した。この決議案を作成したのは安保理常任理事国の 2 国の英仏。英仏の制裁案作成の後、これを米国が支持した。決議案はシリアの 21 人の代表らに対し、これらの者たちが 2014 年と 2015 年に同国で化学兵器を使用したとの前提で書かれている。

ロシアと中国はこれに対して拒否権を発動した。

<http://sptnkne.ws/dE3R>

イエメン内戦、子供動員か？

(アップデート 2017 年 03 月 01 日 04:40)

◎ REUTERS/ Khaled Abdullah <https://goo.gl/Axmd8C>

国連人権高等弁務官事務所の報道官によれば、2014 年から内戦状態のイエメンで 2015 年 3 月以降、1,500 人以上の少年兵が動員されたとみられる。共同通信が報じた。

全容は不明で、人数はさらに多い可能性が高いとした。報道官は「10 歳ぐらいの子どもが金銭などで勧誘され戦場に送られている」と指摘。少年兵が前線や検問所の警備に充てられる例が多いとした。また国連の集計では 15 年 3 月以降のイエメンの一般市民の死者は 4,667 人で、子どもが 1,490 人。

<http://sptnkne.ws/dEC5>

露中 朝鮮半島の緊張緩和を支持

(アップデート 2017 年 03 月 01 日 06:47)

◎ AFP 2016/ Ed Jones Ed Jones <https://goo.gl/xrKkj6>

ロシアのイーゴリ・モルグロフ外務次官と中国のクン・シュアンユ外相補佐官は 28 日、北京で会談を実施し、緊張を緩和し、朝鮮半島の核問題の正常化のための条件作りを行うことを支持した。ロシア外務省が明らかにした。ロシア外務省の発表には「双方から緊張を緩和し、北東アジアにおける軍事政治的デタントプロセスを開始し、朝鮮半島の核、その他の問題の正常化のための条件作りとなるような集団的政治外交的努力の拡大の必要性が強調された」と書かれている。

先に日米韓の行った共同声明によれば、3 国は北朝鮮の核・ミサイル開発の資金源に制裁をかける方法について協議している。

<http://sptnkne.ws/dE9N>

谷内局長、新安保補佐官マクマスター氏と初会談

(アップデート 2017年03月01日 09:50)

© REUTERS/ Toru Hanai <https://goo.gl/xvCelv>

谷内正太郎国家安全保障局長は2月28日、米国に訪問かたがた、ワシントンでマクマスター大統領補佐官と会談し、日米同盟の強化に向けて緊密に連携していくことで一致した。政府関係者が明らかにした。マクマスター氏は、辞任したフリン氏の後任。谷内氏と直接会談するのは初めて。

共同通信によれば、両者は、核・ミサイル開発を進める北朝鮮や東、南シナ海で海洋進出を強める中国など日本周辺で悪化する安全保障環境について意見交換した。谷内氏は国務省でティラーソン国務長官とも短時間面会したほか、ペンス副大統領の補佐官とも会談した。

<http://sptnkne.ws/dEC7>

ウクライナ議長 日本に合同軍事演習を提案

(アップデート 2017年03月01日 10:34)

© AP Photo/ Koji Sasahara <https://goo.gl/XMEe0V>

ウクライナ議会のアンドレイ・パルビイ議長は日本の宇都隆史（うとたかし）参議院外交防衛委員長との会談で日本側に合同軍事演習の実施を提案した。ウクライナ議会が公式サイトで明らかにした。パルビイ議長は現在日本を公式訪問中。ウクライナ議会のサイトには議長がウクライナ軍と自衛隊の合同軍事演習を提案した事実が記載されている。パルビイ議長はまたウクライナ情勢正常化における今後の日本の役割強化に期待を表した。

先の報道では、日本の稲田防衛相は、米国のマティス国防長官との会談を総括した中で「日本は、I S（ダーイシュ、イスラム国）に対するものや、南シナ海での作戦には参加しない」と明言した。

<http://sptnkne.ws/dEBT>

「ダーイシュ（I S、イスラム国）」プロパガンダ、激減 関連アカウント、閉鎖—ジョーンズ副司令官

(アップデート 2017年03月01日 12:00)

© AFP 2016/ BULENT KILIC <https://goo.gl/icD0ou>

「ダーイシュ（I S、イスラム国）」掃討作戦を行う有志国連合のジョーンズ副司令官（英軍少将）は2月28日、ロンドンで記者会見し、「ダーイシュ」のプロパガンダ活動が昨年8月までの1年間

で75%減ったと明らかにした。副司令官はの「ダーイシュ」宣伝活動が「崩壊した」と指摘した。

ソーシャルメディアの、「ダーイシュ」関連アカウント閉鎖など有志国連合の対策と同時に、プロパガンダ対策の一部を担ってきた外国人戦闘員の流入が減ったためとみられる。

副司令官によると、ツイッターへの書き込みは2014年以降、45%減少。これまでに36万件的「ダーイシュ」関連アカウントが閉鎖され、現在では過激派関連のアカウントは平均2日以内に閉鎖されているという。

副司令官は、「ダーイシュ」支配地域に渡航する外国人戦闘員数がピーク時と比べて75～90%減ったと指摘、「ダーイシュ」をすばらしいものと描く宣伝をうそだと皆が認識するようになった」と述べた。共同通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dECA>

国連人権理事会で滝沢氏、日本人拉致問題を早期解決訴え

(アップデート 2017年03月01日 12:45)

◎ 写真: UN Photo / Jean-Marc Ferré <https://goo.gl/8jlKjw>

滝沢求外務政務官は2月28日、ジュネーブで開催中の国連人権理事会で演説、北朝鮮による「(日本人などの)拉致問題はまだ解決していない」と述べ、国際社会に改めて早期解決を訴えた。共同通信が報じた。

滝沢氏は北朝鮮の人権問題が人権理や国連総会で取り上げられるようになり「国際社会の懸念は強まっている」と指摘、北朝鮮にこうした声を真摯に受け止めるように求めた。また日本が欧州連合(EU)と共同で人権理の今会期に提出予定の北朝鮮の人権侵害を非難する決議案について、各国の支持を要請した。

<http://sptnkne.ws/dECC>

金正男氏 日本の政治家と接触を図った矢先に殺害

(アップデート 2017年03月01日 15:04)

◎ AP Photo/ Ahn Young-joon <https://goo.gl/8RhaRV>

金正男氏は日本の石井一元自治相と会談を計画していた矢先に殺害されたことが判った。産経新聞が石井氏に行った取材で明らかになった。

石井氏は長年、日朝国交正常化問題に取り組んでいる。その石井氏に対して金正男氏は会談を申し入れ、3月1日にマカオで会食が行われる手はずになっていた。暗殺事件が起きたのは面会が確定した11日後だった。

北朝鮮問題に詳しい石井氏に金正男氏がなぜ接触を図ったかは明らかにされていないものの、産経新聞は正男氏が異母弟の金正恩氏朝鮮労働党委員長とは別に独自に日本との関係改善を図ろうとし、これが北朝鮮の警戒感を刺激したのではないかとの見方を示している。

石井氏は国土庁長官、自治大臣、国家公安委員会委員長、民主党副代表、衆、参議員などを歴任する存在。北朝鮮について拉致された日本人の行方を知っているなど、自身が事情に精通していることを示す発言をしている。

<http://sptnkne.ws/dEEk>

トランプ大統領が米国の主たる敵を明言 CNN

(アップデート 2017年03月01日 14:54)

◎ REUTERS/ Kevin Lamarque <https://goo.gl/OHIXIB>

トランプ米大統領は朝鮮民主主義人民共和国を米国の主たる脅威とみなしていると語った。ホワイトハウスの高官が28日、記者団に対して明らかにしたとCNNテレビが報じた。

CNNによれば、トランプ大統領は27日、中国國務院の楊潔篪（よう けっち）委員と会談したなかで、楊氏に「北朝鮮について作業を行う」よう呼びかけた。

朝鮮民主主義人民共和国は現時点までにすでに合計5度の核実験および20回以上の弾道ミサイル打ち上げ実験を行っている。

<http://sptnkne.ws/dEMF>

トランプ大統領が名指して非難 情報漏えいはオバマ氏の仕業

(アップデート 2017年03月01日 18:17)

◎ REUTERS/ John Gress <https://goo.gl/VTr5Hf>

トランプ米大統領はオバマ前大統領が現米政権に圧力をかけ、全国各地で政府への抗議行動を煽動し、ホワイトハウスの情報漏えいを組織しているとしてこれを非難した。

トランプ大統領は「この（情報漏えいのこと）裏にはオバマがいるとにらんでいる。なぜならこ

の裏幕にいるのは彼の息のかかった者たちだからだ」と発言している。

トランプ大統領は情報漏えいは米国の国家安全保障に影響する以上由々しきことだと指摘する一方で、実際何が漏れているかについては詳細を避け、漏洩は「それが政治である」ために今もなお続いていると発言するにとどまった。

トランプ大統領は現政権から民主党支持者を「除去」する計画だと明かしている。

先に伝えられたところによると、米務省から情報が漏洩する危険性についてティラーソン米務長官へ送られたメモが、ジャーナリストらの手に渡った。

<http://sptnkne.ws/dEGr>

露中 THAAD配備を行わぬよう米韓に再度呼びかけ

(アップデート 2017年03月01日 16:50)

© REUTERS/ U.S. Department of Defense, Missile Defense Agency <https://goo.gl/I22zuB>

ロシアと中国は合同で、米国および韓国に対し、韓国領内における米国のミサイル防衛システム(MD)「THAAD」配備プロセスを停止するよう再度呼びかけた。中国外交部(外務省)が明らかにした。

2月28日、中国外交部のクン・シュアンユ部長助理は北京でロシアのイーゴリ・モルグロフ外務次官と会談を実施している。中国外交部が会談を総括して出した発表には「米韓が米国のミサイル防衛システムTHAADの配備プロセスを依然として進めていることに対し、双方とも再度深刻な憂慮と断固とした反対を表した」と述べられている。

文書によれば、ロシアと中国は朝鮮半島の現状の複雑さを指摘し、双方に対して冷静さを保ち、状況のエスカレートを招きかねない行動を慎むよう呼びかけている。

<http://sptnkne.ws/dEHj>

日本は安倍首相のモスクワ訪問期日をロシアと調整中、上月駐露大使が声明

(アップデート 2017年03月01日 19:06)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/rkkilY>

安倍首相のモスクワ訪問の期日については現在ロシア側と合意を図っている。上月豊久駐露日本大使はスプートニク通信に対してこう述べた。

「安倍首相は年内のロシア訪問実現についてすでに期待を表している。1回の訪問は9月の東方経済フォーラムの実施に絡んだものはすでに計画済み。このほかに安倍首相はモスクワ訪問の希望も表している。具体的な場所と日取りはロシア側と現在すりあわせ中。現時点では具体的な期日を挙げることは難しい（ロシア語からの和訳）。」

上月大使はさらに、朝鮮民主主義人民共和国をめぐる情勢は3月20日に東京で実施の外務・国防相協議2+2のなかで話し合われる予定と述べた。

大使は会談のテーマはまだ確定されていないとしながらも、「安全保障は日本、ロシアにとって重要な問題であり、こうした協議は特別な意味を持っている（ロシア語からの和訳）」と指摘している。

<http://sptnkne.ws/dEJk>

「ダーイシュ（IS）」指導者が支持者らに別れのスピーチ マスコミ情報

（アップデート 2017年03月01日 19:52）

◎ AP Photo <https://goo.gl/v1lwKL>

国際テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の首領、アブバクル・アリ・バグダチは演説のなかで先日の戦闘でダーイシュが敗北したことを認め、支持者らに対し山岳地帯に潜伏するよう呼びかけた。「アルスマリア」TVがナイナワ県の情報筋からの情報として報じた。

「アブバクル・アリ・バグダチは自分の演説を『別れの演説』と呼び、これをダーイシュの活動普及者らの間に広め、組織内の状況を説明した。組織の活動普及者らはナイナワ県、イラクのほかの地域でダーイシュが敗北したと語り始めている。」

情報筋が「アルスマリア」TVに対して語った。これより前、イラク領内に位置するモスル市西部にいた首領らが身の安全を図ろうと同市から逃亡していると報じられていた。

<http://sptnkne.ws/dEMf>

モスル近く大量埋葬地にダーイシュが地雷

（アップデート 2017年03月01日 20:00）

◎ REUTERS/ Azad Lashkari <https://goo.gl/PtuCsq>

国際テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の戦闘員らはジャーナリスト、調査隊を攻撃するため、モスル近郊にある大量埋葬地に地雷を仕掛けた。タイムズ紙が報じた。

これより前テレグラフ紙はハスファ郊外を走るモスルとバグダッドを結ぶ道路わきにイラクでは最大の死体の埋葬地が見つかったと報じていた。遺体の数はおよそ4千体と予想されている。ダーイシュは2014年、イラクの治安維持機関の職員らを入質にとり、これを殺害したあと、漏斗状の穴を掘って投げ込んでいた。

テレグラフ紙によれば、25日、この埋葬地を取材していたクルドのラダウTVの女性記者のシファ・ガルディさんが地雷によって死亡。ガルディさんのほかにもさらに5人が死亡した。

イラク軍テロ対策部の代表のアミル・ラアド大佐は埋葬地の周りで「信じられないほど」多くの地雷が見つかったことを明らかにした。ラアド大佐は地雷はこれを調査しようとする者たちをわざと狙って仕掛けられたものと語っている。

<http://sptnkne.ws/dEQc>

米国はIS対策でイランとサウジと協力可能

(アップデート 2017年03月01日 21:10)

© AFP 2016/ Carlos Barria <https://goo.gl/h9YhrL>

「ダーイシュ (IS、イスラム国)」との戦いでイランとサウジアラビアが楽観的アプローチをアピールするならば、米国はこの2国と協力を行える。アメリカ特殊作戦軍 (USSOCOM) の元司令官顧問と務めたポップ・ヴァレリー氏はこうした見解を明らかにした。ヴァレリー氏は現在「米国よ、立て (Stand Up America)」基金の代表を務めている。

ヴァレリー氏は現段階ではイラクではイランのイスラム革命防衛隊が行動するのと平行して米軍が主として特殊作戦を行っており、「彼らはさまざまな分野で作業を行い、ISの武装戦闘員らから領土を解放しようとしている」と指摘している。

こう指摘する一方でヴァレリー氏は米国とイラン、米国とサウジアラビアの作業上の協力は可能との見方を示し、「イランとサウジには、我々はテロ組織の活動を中性化する用意があるのであり、組織を支援し、紛争を煽動するのではないという楽観的なアプローチをアピール必要がある」と締めくくった。

先の報道では、国際テロ組織「ダーイシュ (IS、イスラム国)」の首領、アバクル・アリ・バグダチは演説のなかで先日の戦闘でダーイシュが敗北したことを認め、支持者らに対し山岳地帯に潜伏するよう呼びかけた。「アルスマリア」TVがナイナワ県の消息筋からの情報として報じた。

<http://sptnkne.ws/dERT>

ロシアは新たな軍拡に巻き込まれない 露上院議長

(アップデート 2017年03月01日 21:53)

© Sputnik/ Vladimir Fedorenko <https://goo.gl/EZtLkv>

ロシア上院（連邦会議）のマトヴィエンコ議長は1日、記者団に対して、ロシアは新たな軍拡に巻き込まれることを許さないものの、国家安全保障を保障するために十分な措置はとることを明らかにした。

マトヴィエンコ上院議長はトランプ米政権が国防費の拡大の意思を示したことについてコメントし、「ロシアは軍拡競争にか見込まれることはない。我々は状況を分析し、十分な国家安全保障を行うにたる措置をとっていく」と語った。

<http://sptnkne.ws/dEUp>

シリア軍 「ダーイシュ」戦闘員をパルミラの歴史的城砦から追い出す

(アップデート 2017年03月02日 00:24)

© AFP 2016/ Joseph Eid <https://goo.gl/890WyF>

シリア軍とその同盟部隊が、パルミラの歴史的城砦をテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の戦闘員から解放した。現地の消息筋が伝えた。消息筋は「軍はパルミラの城砦と南西部の山脈のコントロールを取り戻した」と語った。消息筋によると、テロリストらは軍が町の高台を掌握した後、戦いを続けながら城砦のある高地から後退した。

<http://sptnkne.ws/dEXy>

フィヨン氏 仏大統領選から撤退しないと表明

(アップデート 2017年03月02日 00:36)

© AFP 2016/ Philippe Desmazes <https://goo.gl/tZzQRe>

仏大統領選で最大与党「共和党」候補のフィヨン元首相は、追訴される可能性があるものの、選挙戦から撤退しないと表明した。フィヨン氏は記者会見で、「そうだ、私は大統領候補として戦う」と述べた。

フィヨン氏は、3月15日に裁判所に出頭することを認めた。追訴される可能性がある。なおフィヨン氏は、誰が仏大統領になるのかを決めるのは有権者だと指摘した。

ペネロプ氏をめぐるスキャンダル報道を展開し始めたのは仏の週刊新聞「カナール・アンシェネ」。「カナール・アンシェネ」紙によればペネロプ氏は8年にわたって議員秘書報酬を受け取っていた。「カナール・アンシェネ」紙が支払票を調べたところ、ペネロプ氏は1998年から2002年の期間、議員へのサービスを支払う基金から支払を受け取っていた。

<http://sptnkne.ws/dEZ8>

ラジオ・スプートニク ユネスコから賞状を授与される

(アップデート 2017年03月02日 01:54)

© Sputnik/ Konstantin Chalabov <https://goo.gl/ch5Dho>

「世界ラジオ・デー」の記念活動に参加したことに対し、情報通信社・ラジオ「スプートニク」にユネスコから賞状が授与された。「スプートニク」は2月13日、「世界ラジオ・デー」に合わせて世界9都市で「ラジオマラソン」を行った。

「スプートニク」は同イベントを前に世界のSNSユーザーを対象に、ラジオを聴くための最も人気のある手段を調査するための世論調査を実施した。調査は、英語、フランス語、アラビア語、スペイン語、中国語を含む19カ国語で行われた。

結果、インターネットでラジオを聴いている「スプートニク」の読者は、従来のラジオを使用している人よりも多いことがわかった。すべての国で平均59%の人がインターネットでラジオを聴いているのに対し、従来のラジオで放送を聴いているのは41%であることが分かった。

ラジオ・スプートニク ユネスコから賞状を授与される

© Sputnik/ <https://goo.gl/Fs3jv6>

<https://goo.gl/XdNmMT>

FIFA委員会 大会に向けたソチの準備状況を肯定的に評価する

(アップデート 2017年03月02日 03:40)

© Sputnik/ Alexander Vilf <https://goo.gl/x4ImFx>

国際サッカー連盟（FIFA）の委員会は1日、ロシアのソチで5回目の巡察を行った。今回は大会中のスタジアムの活動が議論のテーマとなった。

FIFAのコリン・スミス競技イベント委員長は、2017年のコンフェデレーションズカップと2018年のW杯開催に向けてソチ当局と住民によってすでに成し遂げられた作業の量を肯定的に評価し、

「地元当局の参加のお陰ですでにたくさんの作業が成し遂げられた。しかしまだたくさんをしなければならない」と述べた。

2月27日、委員会はサンクトペテルブルグの「ゼニト・アリーナ」を視察し、同じくスタジアムの準備に関する作業に満足の意を表した。

先の報道では、モスクワ南西地区にあるプーシキン記念ロシア語大学は、サッカーのW杯のボランティア・プログラム参加のための申し込みをした外国人向けに、ロシア語の無料オンライン・コースをスタートとさせた。

<http://sptnkne.ws/dFkK>

イスラム教 21世紀末には世界で最も普及した宗教に

(アップデート 2017年03月02日 06:14)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <https://goo.gl/DmCifN>

イスラム教は21世紀末までにキリスト教信者の数を抜いて、世界で最も多くの信者を集める宗教となる。こうした予測を米ピュー・リサーチ・センターが発表。

同センターの調査では、2010年世界の宗教人口ではイスラム教徒の数は16億人。これは地球全体の人口の23%を占める数。センターは現在の人口動態状況がキープされた場合、イスラム教徒の数は今世紀末までにキリスト教徒の数を上回ると予測している。

こうした状況の理由としてピュー・リサーチ・センターはイスラム教徒の間の出生率の高さおよび現在のイスラム教徒の大半が若年である事実を指摘している。

移民問題は現在、主にイスラム教徒の間で発生している。先日、トランプ大統領が署名した、一連のイスラム教国の国民の入国禁止に関する大統領令は、いくつかのEU諸国の首脳の間で不満の嵐を引き起こしたものの、一連の欧州の政治家には熱く迎えられた。このような反応を受けて、欧州市民自身はどのような立場を保持しているかについて、調査が行われた。

<http://sptnkne.ws/dFkM>

東南アジアでのビッグゲームで日本の希望の要となるベトナム

(アップデート 2017年03月02日 09:20)

© REUTERS/ Kham <https://goo.gl/F0ZvX8>

ベトナムは初めて日本の天皇皇后両陛下をお迎えしている。両陛下はハノイとフエに滞在され、ベトナム側の要人と会見されるほか、第二次世界大戦後にベトナムに残った元日本兵の家族らと面会する。

今年1月に日本の安部首相もベトナムのハノイを訪問したことを考えると、ベトナムが日本の外国政策で重要な地位を占めているのは明らかだ。ロシア科学アカデミー東洋学研究所東南アジア、オーストラリア、オセアニア研究センターのドミトリー・モシャコフ所長は「スプートニク」のインタビューで、「そのとおりだ」と述べ、次のように語っている—

「今我々は東南アジアでビッグゲームが展開されているのを目にしている。米国は長期の内部対立に入り、彼らは今アジアの問題どころではない。影響力を増す中国のカウンターバランス、このカウンターバランスとは米国だが、このカウンターバランスが存在しない中で、日本は中国に対抗するための新たな同盟国を探している。急速に成長する経済と強力な軍隊を持ち、中国と領有権争いをしている国のベトナムとインドがそのような信頼できる同盟国になることができる。」

日本はベトナムに気候変動の影響に対する闘いでの支援を提案し、教育センターや研究所を設立、ベトナムの学生たちは積極的に日本へ留学している。地域における空及び海洋の安全保障は、両国の協力における重要な方向性であり、日本はベトナムに巡視船を供与している。

モシャコフ氏はさらに次のような見解を表している—

「現在の状況は、ベトナムの多方向外交政策の勝利だ。ベトナムとの関係発展に中国、米国、日本、EU、ロシアなどの世界の主要なプレーヤーたちが関心を持っている。私はベトナム指導部には、賢明さ、そして国の主要な外交政策ドクトリン「3つのNO」に従いながら、これらの国の間でバランスを維持する力があると考えている。」

<http://sptnkne.ws/dFkR>

豪州、初めて全世界から大使を一斉に召還

(アップデート 2017年03月02日 10:19)

© Fotolia/ Paul Liu <https://goo.gl/wHT91V>

豪州のビショップ外相は国際舞台における同国の戦略的状況を話し合うため、全世界から一斉に113人の大使らを首都キャンベラに呼び集めることを明らかにした。3月1日付けのシドニー・モーニングヘラルド紙が報じた。

大使らは近日中に任期が切れる数人を除いて全員、翌月にはターンブル首相、ビショップ外相、ショーボウ通商相および野党代表らとの会談を2日間にわたって行う。会談ではトランプ米大統領

選出で生まれた新たな条件下での外交政策、通商政策、南シナ海の新たな緊張エスカレート、米国のTPP離脱、テロ対策などがテーマに取り上げられるものと見られている。

先の報道では、トランプ大統領はオーストラリアのターンブル首相との電話会談を他国首脳との会談のうち「これまでで最悪」だと述べた。ワシントンポストが関係筋の情報を基に報じた。

<http://sptnkne.ws/dFkW>

英議会、政府にロシアとの対話再開を呼びかけ

(アップデート 2017年03月02日 14:35)

◎ Sputnik/ Aleksandr Yurev <https://goo.gl/M1pHT8>

英下院の国際委員会は英露関係の状態についての報告書を公開した。報告書の主な考えは、ロシアとの対話の欠如は「近視眼的」政策であり、即座に止める必要があるというもの。露英関係は「冷戦終了から最も緊張した時間を生き延びた」と強調されており、緊張の説明として、「最近の歴史の根本的に異なる受け止め方」を挙げている。また委員会は、ロシアとの関係停止は許容し難く、それは「ロシアが核兵器を有して国連安全保障理事会の常任理事国である欧州の国」だからだと認めた。

国際委員会は政府に、ロシアとの対話を発展しつつ、彼らが見るところの「クリミア併合とシリアでの違法行為」といった暴力的なロシアの外交政策を受けての、ロシアへの圧力を弱めないように呼びかけた。

報告書ではRTとスプートニクに一章が割かれており、それらは英国で機能する可能性を持つべきだと国際委員会は考えている。また、フェイクニュースにも一章が割かれているが、例は1つとして挙げられなかった。

<http://sptnkne.ws/dFp5>

マレーシア、北朝鮮のビザなし渡航を廃止へ

(アップデート 2017年03月02日 15:31)

◎ 写真: Sam Gao <https://goo.gl/ndR0eB>

マレーシア政府は3月6日から北朝鮮国民に対する査証(ビザ)なしで入国できる制度を廃止すると伝えた。ロイターが報じた。

北朝鮮国民はマレーシア入国の際にビザ取得が義務付けられる。この措置は安全保障上の理由か

ら取られたもの。マレーシアの国営ベルナマ通信が同国のザヒド副首相の発表として報じた。

先にマレーシアで、北朝鮮の金正恩・朝鮮労働党委員長の異母兄、金正男氏殺害の後、インドネシア国籍とベトナム国籍の女が逮捕され、さらに4人の関与のもとでの計画犯罪だったとの見方が示されている。

<http://sptnkne.ws/dFpD>

石油、記録的続落 米石油在庫上昇が背景

(アップデート 2017年03月02日 15:17)

© AFP 2016/ Karen Bleier <https://goo.gl/159g2m>

米国での原油在庫の伸びが公開された後の昨日、先週の最安値水準まで落ちた石油価格は、2日今日も続落している。

ロンドン国際石油取引所での日本時間 14時5分時点での北海ブレント原油5月先物価格は0.44% (0.25ドル) 下がり1バレル=56.11ドルとなった。昨日の取引終了までには0.27% (0.15ドル) 下がり、1バレル=56.36ドルとなっていた。

ニューヨーク・マーカンタイル取引所 (NYMEX) でWTI石油4月先物価格は0.54% (0.29ドル) 下がり、1バレル=53.54ドルとなった。昨日の取引終了までには0.33% (0.18ドル) 下がり、1バレル=53.83ドルとなっていた。

昨日公開された米エネルギー省のデータは同国石油在庫が150万バレル増加したことを示した。

原油関連のニュースはこちら。 <https://goo.gl/0EeTyk>

<http://sptnkne.ws/dFpS>

米議会、「トランプ政権とロシアとの接触」調査へ

(アップデート 2017年03月02日 15:46)

© AFP 2016/ Kena Betancur <https://goo.gl/KAehpN>

米下院情報特別委員会がトランプ陣営のメンバーがロシアと接触していたとの疑惑を調査する。同委員会の民主党代表、シフ下院議員が1日発表した。

シフ議員はMSNBCテレビのインタビューを受けて、「私たちは、トランプ陣営とロシアとの

合意という仮定を調査することで、(民主党の)少数派と(共和党の)多数派との間で合意に達した。」

先に匿名の高官筋がニューヨーク・タイムズに、昨年の米大統領選挙前にトランプ陣営が一度ならずロシア情報機関と接触したとリークした。

ロシア外務省はメディアの報道を、米国では大規模な国内政治ゲームや駆け引きが行われているとのさらにもう1つの証拠であると述べた、

<http://sptnkne.ws/dFqp>

米韓合同演習に在日米軍のステルス機 F-35B が参加へ

(アップデート 2017年03月02日 17:21)

◎ 写真: Public domain <https://goo.gl/jgTQe0>

米国は韓国との合同軍事演習「フォールイーグル」に、日本の米軍岩国基地に配備されている米最新鋭のステルス戦闘機「F-35B」の飛行中隊を投入する予定。聯合ニュースが韓国軍関係筋の情報として報じた。

消息筋は、「F-35B 戦闘機の(演習)投入は、この機体は朝鮮半島の有事の際に北朝鮮に対して用いられる可能性があるとのメッセージを北朝鮮に伝えるためのもの」だと述べる。

演習「フォールイーグル」は3月1日から始まり、4月末まで続く。3月13日からは、軍事行動のコンピュータモデリングシステムを用いた演習「キー・リゾルブ」も開始される。聯合ニュースによると、米国は韓国での演習で原子力空母カール・ビンソン、F-35 ステルス戦闘機、B-1B や B-52 戦略戦闘機を投入する予定だ。

<http://sptnkne.ws/dFrc>

スプートニク編集長一英議会は RT とスプートニク閉鎖方法を「思いつかず」

(アップデート 2017年03月02日 17:00)

◎ Sputnik/ Konstantin Chalabov <https://goo.gl/afcWD6>

スプートニクのマルガリータ・シモニャン編集長は、英国でのロシアのRTとスプートニクの仕事に対して注意を割いた英下院の外交委員会の報告書にコメントして、英下院は「私たちが何故閉鎖してもいいのか、を思いつかなかった」と指摘した。

2日、英下院外交委員会は報告書を公開した。その中では英国での「フェイクニュースの数の増

加」への懸念が示され、RTテレビとスプートニクは捏造を非難されているが、報告書では捏造の例は1つも示されなかった。

英下院の国際委員会は、英国でのRTやスプートニクを含むロシアメディアの仕事を妨害することはできないとして、それは、「言論の自由と報道の自由は鍵となる英国の価値観」であるためだと強調した。

<http://sptnkne.ws/dFrT>